Panasonic

取扱説明書

家庭用

マッサージチェア

品番

EP-MA50
EP-MA20

リアルプロ

●このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●**ご使用前に「安全上のご注意」（4 ～ 7ページ）を必ずお読みください。**
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。

保管用

保証書別添付

お持ちの商品の機能をご確認ください。

機　能		参照ページ	EP-MA50	EP-MA20
マッサージメニュー	全身自動コース	P.22	●	●
	骨盤コース	P.28	●	—
	お好み動作	P.30	●	●
エアーマッサージ	脚・足裏	P.35	●	●
	手・腕	P.36	●	—
ストレッチマッサージ	脚ストレッチ	P.37	●	●
自動調節機能	体型センシング	P.46	●	●
強さ調節機能	もみ圧調節（8段階）	P.24	●	●
	骨盤コース強さ調節（4段階）	P.29	●	—
	エアー強さ調節（5段階）	P.34	●	●
椅子調節機能	リクライニング角度	P.38	●	●
	脚のせ台角度調節	P.38	●	●
	脚のせ台スライド調節	P.39	●	●
その他	操作器トレイ	P.17	●	●
	枕	P.39	●	●

もくじ

ご使用前に

使いかた

お手入れ／Q&A

お知らせ

安全上のご注意

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の２つに区分しています。
※安全上の注意についての詳細は各ページにのせています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例

⃠ 記号は、**禁止**の行為を示しています。
（左図の場合は分解禁止）

● 記号は、行為を**強制**したり**指示**したりするものです。
（左図の場合は電源プラグを抜く）

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告

必ず守る	● 医師の治療を受けているときや下記の人は必ず医師と相談のうえ使用する。 （1）ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込型医用電子機器を使用している人 （2）悪性しゅよう（腫瘍）のある人 （3）心臓に障害のある人 （4）妊娠中や出産直後の人 （5）糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 （6）骨粗しょう（鬆）症の人、せきつい（脊椎）を骨折している人、ねんざ（捻挫）、肉離れなどの急性とう（疼）痛性疾患の人 （7）施療部位に創傷のある人 （8）体温38℃以上（有熱期）の人 （例：急性炎症症状〔けん怠感、悪寒、血圧変動など〕の強い時期、衰弱しているとき） （9）安静を必要とする人や著しく体調のすぐれないとき （10）背骨に異常のある人、曲がっている人 （11）椎間板ヘルニア症の人 （12）上記以外に身体に特に異常を感じているとき 守らないと事故や体調不良をおこすおそれがあります。
	● 使用中に身体に異常があらわれたり感じたときや使用しても効果があらわれない場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談する。 守らないと事故や体調不良をおこすおそれがあります。
	● マッサージ使用中や背もたれ、脚のせ台を動かすときは必ず周囲（本体の後部・下部・前部・側部）に人やペットがいないことを確認する。 ● 体型センシングしたときは必ず肩位置が合っているか確認する。合っていないときは位置調節ボタンで肩の高さを調節するか、マッサージを停止して再度体型センシングを行なう。 （全身自動コース、お好み動作のとき） 守らないと事故やけがのおそれがあります。

⚠ 警告

必ず守る	● 使用前には、必ず背クッションを上げて、本体の布地が破れていないか確認する。 また、その他の部分にも布地の破れがないか確認する。 （どんなに小さな破れでも、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。） 布地が破れた状態で使用するとけがや感電のおそれがあります。
	● はじめは弱い刺激でマッサージする。また、マッサージは1回15分以内に。また、同一か所への使用は5分以内にする。 守らないと逆効果やけがのおそれがあります。
	● 使用後は必ず電源スイッチを「切」、施錠スイッチを「閉」にし、施錠キーを抜く。 守らないとお子様のいたずらによる事故やけがのおそれがあります。
	● 電源プラグは根元まで確実に差し込む。 守らないと感電や発熱による火災の原因になります。
	● 電源プラグのほこり等は定期的にとる。 守らないと湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
禁止	● 次の人は使用しない。 医師からマッサージを禁じられている人（例：血栓（塞栓）症、重度の動脈りゅう（瘤）、急性静脈りゅう（瘤）、各種皮膚炎および皮膚感染症［皮下組織の炎症を含む］など） 症状を悪化させるおそれがあります。
	● 次の人は骨盤コースを使用しない。 （1）急性腰痛、椎間板ヘルニア、腰椎すべり症の人 （2）変形性股関節症など股関節の悪い人 （3）骨粗しょう（鬆）症の人 （4）使用中に脚のしびれ、だるさを感じた人 症状を悪化させるおそれがあります。
	● 首周辺をマッサージするときは、もみ玉の動きに注意して、首の前方や過度に強いマッサージはしない。 ● 背もたれやひじ掛けの上にのらない。 ● お子様に使わせない。また、本体の上で遊ばせたり、座面・背もたれ・ひじ掛けの上にのらせない。 ● 自分で意思表示ができない人、または、自分で操作できない人は使わない。 事故やけがのおそれがあります。
	● コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや交流100V以外での使用はしない。 （海外でのご使用や変圧器を用いたご使用はできません。） 感電・故障や発熱による火災の原因になります。
	● 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。 （傷つけたり、加工したり、熱機器に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物をのせたり、束ねたりしない。） 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。電源コードや電源プラグの修理は、販売店または「修理ご相談センター」にご相談ください。
ぬれ手禁止	● ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。 感電の原因になります。
分解禁止	● 絶対に改造しない。また、ご自分で分解したり、修理をしない。 発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。

⚠注意

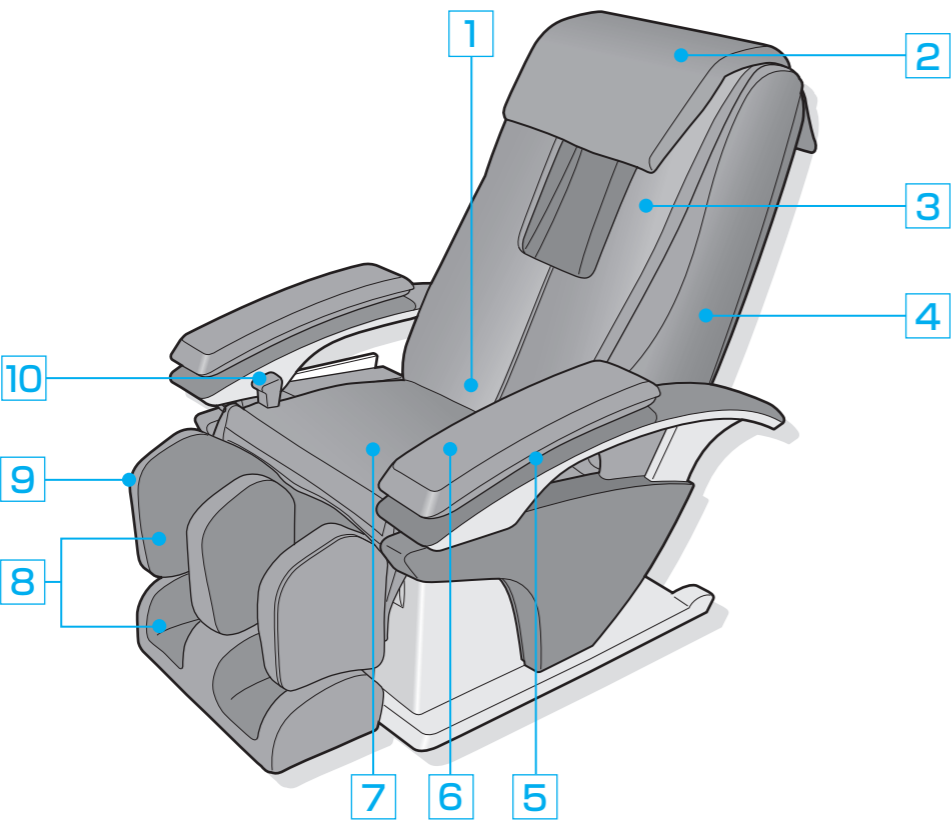
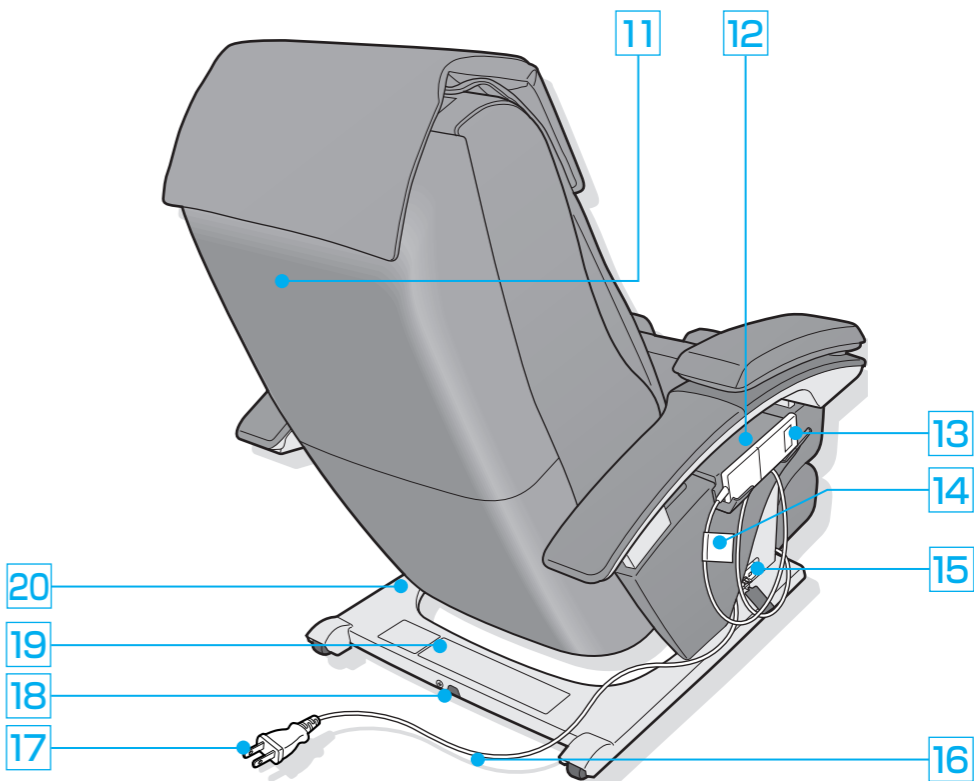
必ず守る	● 現在健康でも下記のような人は必ず医師と相談のうえ使用する。 (1) 加齢により筋肉の衰えた人や痩身の人 (2) 骨や内臓に起因する腰痛の人 (3) 打ち身やねんざのしやすい人 (4) 乗物酔いの激しい人 (5) 過去に心臓や内臓の手術をされた人 守らないと健康をそこなうおそれがあります。
	● もみ玉が収納位置にあることを確認してから座る。 ● 本体に異物がはさまっていないか確認してから座る。 （背もたれ、脚・足裏マッサージ部、手・腕マッサージ部、座面の下に異物がはさまっていないか確認する。） 守らないと事故やけがのおそれがあります。
	● 頭部につけた髪かざりなどの硬いものははずしてから座る。 ● 手・腕をマッサージするときはつけ爪・時計・指輪などの硬いものをはずす。 守らないとけがのおそれがあります。
	● マッサージ中に本体から降りるときは、必ず動作を止めてから降りる。 守らないと事故やけがのおそれがあります。
	● 電源プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く。 守らないと感電やショートのおそれがあります。
	● 安全のためにアースを確実に取り付ける。（P.15参照） 守らないと故障や漏電のときに感電のおそれがあります。
	● 本体を移動するときは、必ず脚のせ台のスライドを完全に戻す。 守らないと移動中にスライドが戻り、けがをするおそれがあります。
	● キャスターで移動するときは、周囲の障害物を取り除き、背もたれを完全に起こした状態で脚のせ台を腰より低く持ち上げ（床から約80cm以下）、ゆっくり移動する。 守らないと転倒による事故やけがのおそれがあります。
	● 水平な場所で使用する。 守らないと本体が倒れて事故のおそれがあります。
	● 動かない場所や、異常を感じたときは使用を中止し、すぐに電源プラグを抜いて点検修理を依頼する。 守らないと感電や発火のおそれがあります。
	● 本品の使用によって発疹、発赤、かゆみなどの症状があらわれた場合は、使用を中止し医師に相談する。 守らないと事故や体調不良のおそれがあります。
	● 施錠キーは、子供の手の届かない場所に保管する。 守らないと誤飲やいたずらによる事故やけがのおそれがあります。
禁止	● 他の治療器と同時に使用しない。 事故や体調をくずすおそれがあります。
	● 取付ネジは取りはずしたまま放置しない。 誤飲のおそれがあります。
	● 脚のせ台が完全に下がっていないときに、脚のせ台の上にのったり、立ったり、物をのせたりしない。 本体が転倒したり、脚のせ台の足先部が回転したりすることによる事故やけがのおそれがあります。

⚠注意

禁止	● もみ玉に頭、おなか、素肌をあてない。また、もみ玉に手や脚をはさまない。 ● 脚・足裏マッサージ部にひざをはさまない。 ● 使用中に眠らない。また、飲酒後の使用はしない。 ● 骨盤コースのエアーが完全に抜けきっていないときに、座面の上に立ったり、飛びのったり、物をのせたりしない。 事故やけがのおそれがあります。
	● 下記のような本体の隙間に手や脚を入れない。 (1) 背もたれと座面・ひじ掛けの隙間 (2) 脚のせ台と座面・ひじ掛けの隙間 (3) 座面とひじ掛けの隙間 (4) 裏カバーと脚カバーの隙間 ● 脚のせ台の裏側や脚のせ台と床の間に手・指・脚や頭を入れない。 ● マッサージ使用中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「切」にしない。 けがのおそれがあります。
	● 人をのせたまま移動しない。 転倒による事故やけがのおそれがあります。
	● ホットカーペットなどの暖房器具の上で使わない。 火災のおそれがあります。
水場使用禁止	● 浴室など湿気の多い場所で使わない。 感電や故障の原因になります。
水ぬれ禁止	● 本体や操作器には水などをこぼさない。 感電やショート、故障の原因になります。
電源プラグを抜く	● お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。 感電ややけどのおそれがあります。
	● 停電のときは直ちに電源プラグを抜く。 停電復帰時、事故やけがのおそれがあります。
	● 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。 ホコリや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。

各部のなまえとはたらき

本体(イラストはEP-MA50です)

表側

裏側

1 **もみ玉収納位置**

2 **枕**

3 **背クッション**

4 **背もたれ**
- もみ玉＝もみ機構部によるマッサージ機能内蔵。
- 骨盤コース用エアーバッグ内蔵。(EP-MA50のみ)

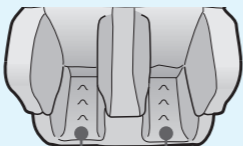
5 **手・腕マッサージ部**(EP-MA50のみ)
- エアー(空気)によるマッサージ機能内蔵。

抗菌

(財)日本染色検査協会でJIS L 1902-2002の基準により評価したものです。(手のひら部)

6 **ひじ掛け**

7 **座面**
- 骨盤コース用エアーバッグ内蔵。(EP-MA50のみ)

8 **脚・足裏マッサージ部**
- エアー(空気)によるマッサージ機能内蔵。

足裏指圧シート
- 裏面に「すべり止め」付き。
- 位置を微調節可能。
- 着脱可能。

9 **脚のせ台**

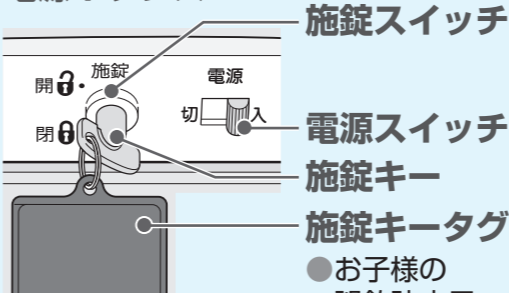
10 **脚スライドレバー**
- 最大約12cmスライドします。

11 **裏カバー**

12 **操作器トレイ**

13 **操作器**
▶P.10～11参照

14 **注意シール**

15 **電源ボックス**

- お子様の誤飲防止用。
- お買い上げ時は施錠スイッチは「開」、電源スイッチは「入」になっています。

16 **電源コード**

17 **電源プラグ**

18 **アース端子**

19 **安全上のご注意(シール)**

20 **脚カバー**

▶次のページにつづく

各部のなまえとはたらき（つづき）

操作器（イラストはEP-MA50です）

ふたを閉じた状態

ふたを開けた状態

表示部
●すべて点灯した状態のイラストです。
（P.11参照）

切/入ボタン

急停止ボタン
●マッサージを急いで停止したいときに押します。

自動コース選択ボタン
ソフトさすり　標準揉ねつ　しっかり指圧
（P.22参照）

もみ圧調整ダイヤル
●マッサージしている部位のもみ圧（もみ玉が体にあたる圧力）が調節できます。
●骨盤コースの強さを調節できます。

骨盤コース選択ボタン
●EP-MA50のみ
（P.28参照）

リクライニング角度調節ボタン
（P.38参照）

部位切/入ボタン
（P.24参照）

脚のせ台角度調節ボタン
（P.38参照）

お気に入りコース登録ボタン
（P.26参照）

エアー設定ボタン
● 手・腕 はEP-MA50のみ
（P.25、P.33、P.34参照）

お好み動作選択ボタン
（P.33参照）

リズム付加ボタン
（P.32参照）

脚ストレッチ切/入ボタン
（P.25、P.33、P34参照）

位置調節ボタン
（P.32参照）

表示部

1 残り時間表示
（マッサージ中）　残り 12分
（終了中）　OFF

2 もみ圧表示
●現在の部位ごとのもみ圧（もみ玉が体にあたる圧力）を8段階で表示します。

もみ圧
首
肩
背
腰

3 動作表示
●マッサージ中は現在行っているマッサージ動作を表示します。
●お好み動作を選択するときは現在選択されている動作を点滅表示します。

4 人体表示
●現在のおおまかなマッサージ位置が点滅します。

5 体型検知お知らせ表示
●体型センシング完了時に点灯します。

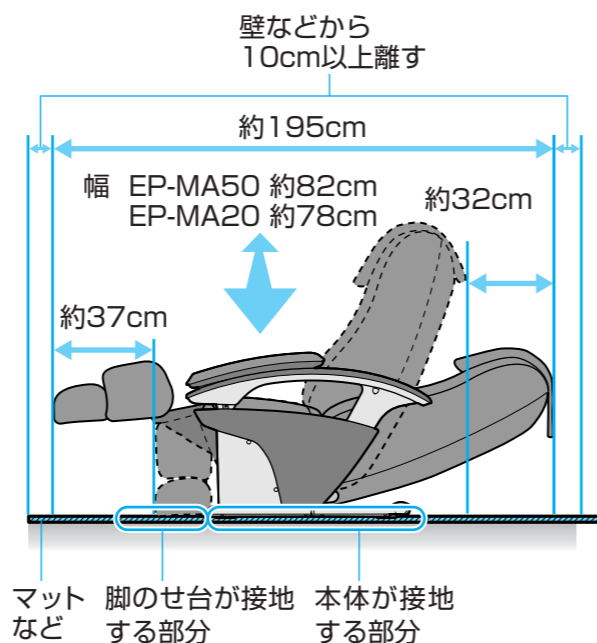
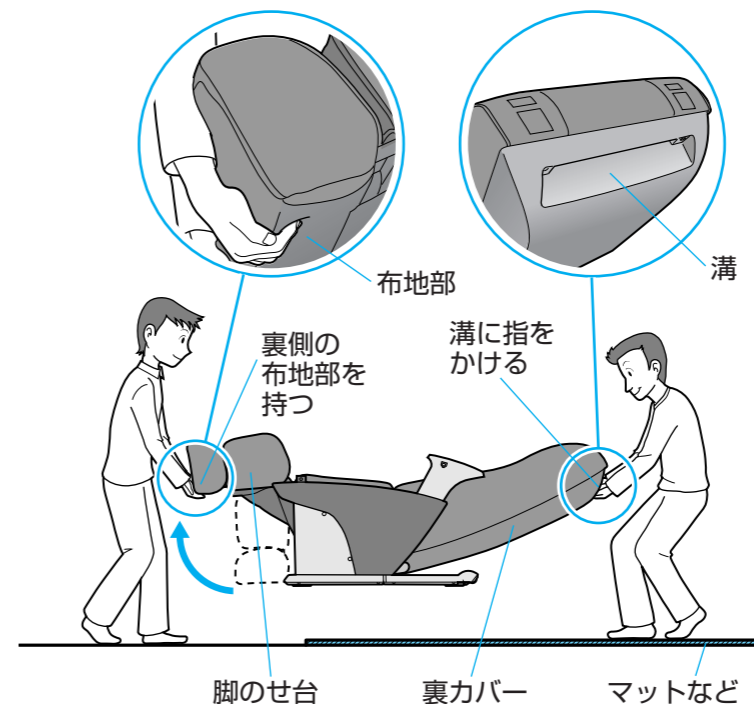
設置する

1 設置する場所を決める

●リクライニングできるスペースを確保してください。

⚠注意

- **●浴室など湿気の多い場所で使わない。**
  感電や故障の原因になります。
- **●水平な場所で使用する。**
  守らないと本体が倒れて事故のおそれがあります。
- **●ホットカーペットなどの暖房器具の上で使わない。**
  火災のおそれがあります。

●直射日光が毎日長時間あたるところや、暖房器具の近くなど高温になるところへの設置は避けてください。合成皮革が変色したり、変質するおそれがあります。
●たたみや床を傷つけることがありますので、本体の下にマットなどを敷くことをお勧めします。
本体と脚のせ台が接地する部分を覆える大きさ（最低120cm×70cm）のものをご用意ください。
●コンセントの近くに設置してください。

2 梱包箱から本体と付属品を取り出し商品を設置する

●重量物ですので搬入時には腰などを痛めないようにご注意ください。（必ず2人で運んでください。）
●キャスターで移動するときは、たたみや床を傷つけないようにマットなどを敷いてください。

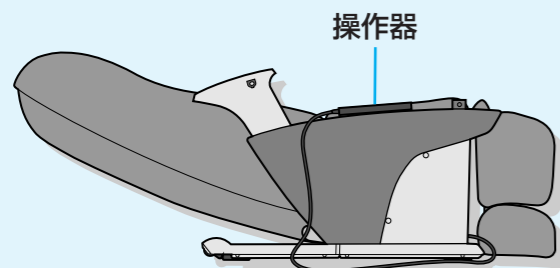
EP-MA50	約 74kg
EP-MA20	約 68kg

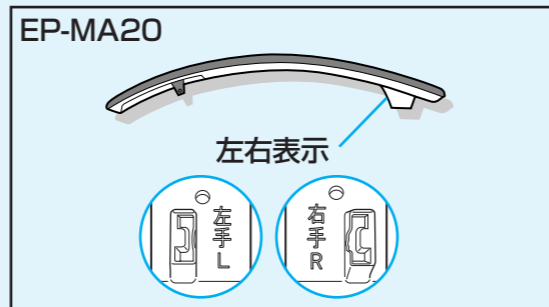
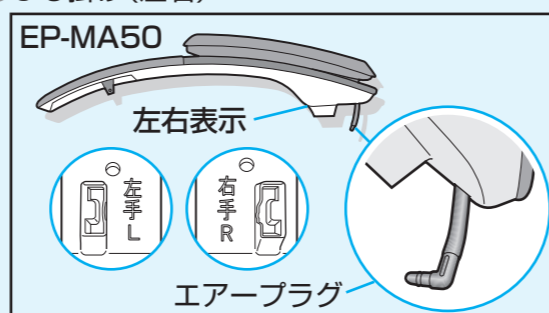
本体を下ろすときは

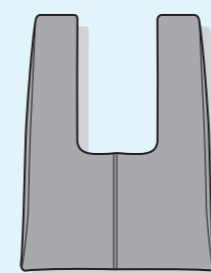
●十分足元に注意してゆっくり下ろしてください。
●脚のせ台は最後まで手をそえて下ろしてください。途中で手を離すと勢いよく戻ります。

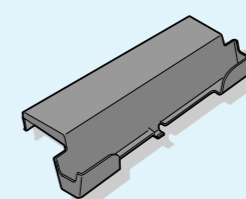
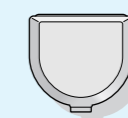
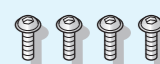
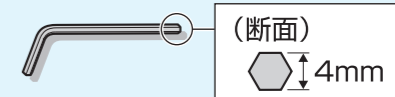
梱包箱には本体と付属品が入っていることを確認してください

本体（イラストはEP-MA50です）

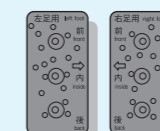
＋

付属品

●ひじ掛け（左右）

ひじ掛け裏側の布地部の穴は、製造工程上のものであり異常ではありません。

●背クッション

●枕

●操作器トレイ

●取付ネジキャップ
EP-MA50…2個
EP-MA20…4個

●取付ネジ
（M6×16）
（4本）

●六角レンチ（1本）

●施錠キー（1本）

お買い上げ時は電源ボックスの施錠スイッチに差し込んであります。

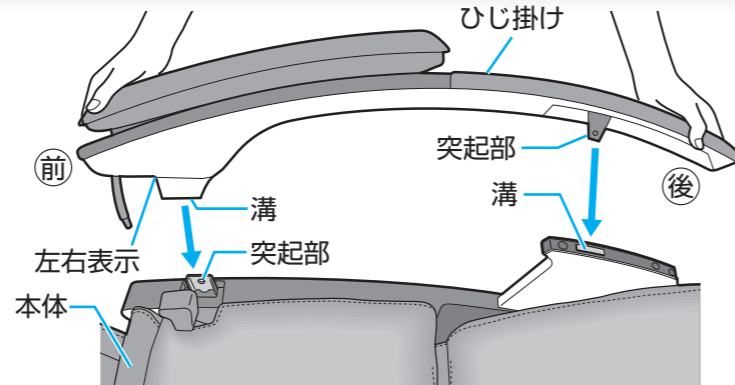
●足裏指圧シート

お買い上げ時は足裏マッサージ部に装着してあります。

取扱説明書などの書類
●取扱説明書
●お子様の安全を守るためのお願い（黄色いチラシ）
●ご愛用者カード
●ご愛用者登録チラシ
●搬入･組み立てのしかた（黄色いチラシ）
●センシングするための注意（ピンク色のチラシ）

組み立てる

1 ひじ掛けを取り付ける（左右両方）

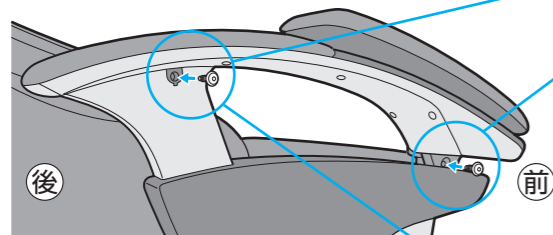
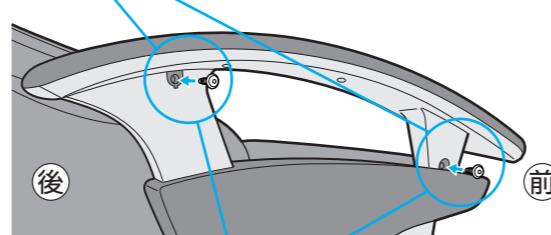
1 ひじ掛けを本体にはめ込む

●指をはさまないように注意してください。
①位置を合わせる
②本体とひじ掛けの前後にあるそれぞれの溝と突起部を同時にはめる

2 取付ネジで固定する（4か所）

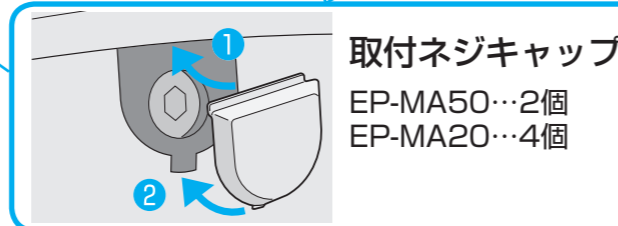
ネジの締めかた

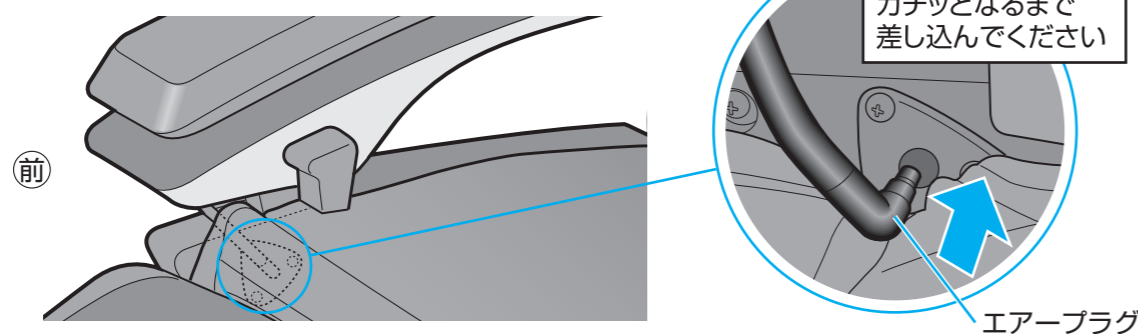
●指で軽く締める
（ネジ穴とネジが水平になるように）

●六角レンチで締める
●ネジ穴に対して、斜めに六角レンチで強く締めるとネジ部が破損するおそれがあります。

<EP-MA50>　<EP-MA20>

3 取付ネジキャップをはめる

●EP-MA20は左右2か所ずつはめてください。

取付ネジキャップ
EP-MA50…2個
EP-MA20…4個

2 エアープラグを取り付ける（左右両方）（EP-MA50のみ）

●エアープラグを本体に差し込む。

3 アースを取り付ける

⚠注意

●**安全のためにアースを確実に取り付ける。**
守らないと故障や漏電のときに感電のおそれがあります。

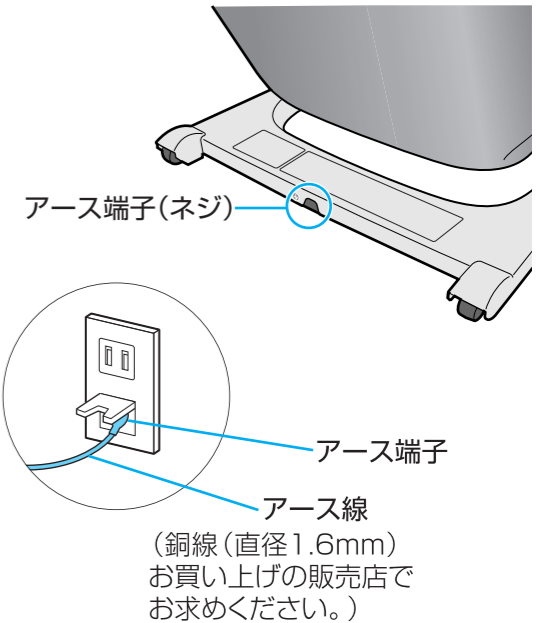
●アース線を、本体のアース端子（ネジ）と電源コンセントのアース端子に取り付けてください。
（アース線は付属していません）

電源コンセントにアース端子がない場合

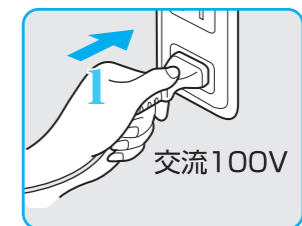
●お買い上げの販売店に相談し、アース工事（D種<第三種>接地工事）をしてください。
（アース工事費は本製品の価格には含まれておりません）

（銅線（直径1.6mm）お買い上げの販売店でお求めください。）

取り付けてはいけないところ

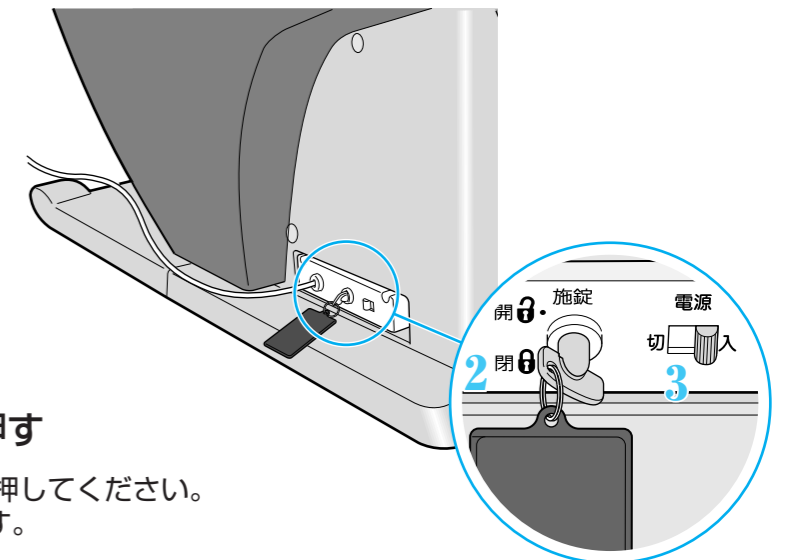
ガス管……………爆発や引火のおそれがあります。
電話線や避雷針…落雷の時、感電や発火のおそれがあります。
水道管……………途中がプラスチックの場合はアースになりません。

4 背もたれをおこす

1 電源プラグを差し込む

（交流100Vのコンセント）

2 施錠スイッチが「開」になっていることを確認する

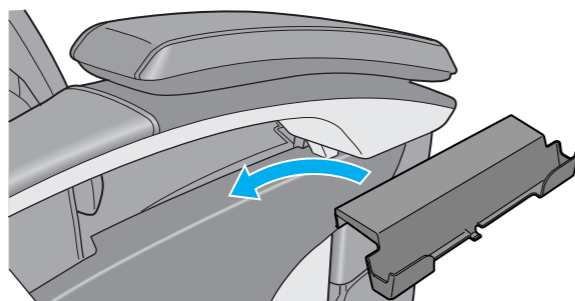
3 電源スイッチが「入」になっていることを確認する

4 操作器の 切/入 を2回押す

●一度押した後、約1秒後にもう一度押してください。
自動でリクライニングがもどります。

ご使用前に

▶次のページにつづく

5 右手側に操作器トレイを取り付ける

●右手側が部屋の壁になる場合などは左手側に取り付けてください。

左手側に取り付けた場合は操作器コードを左手側に通す

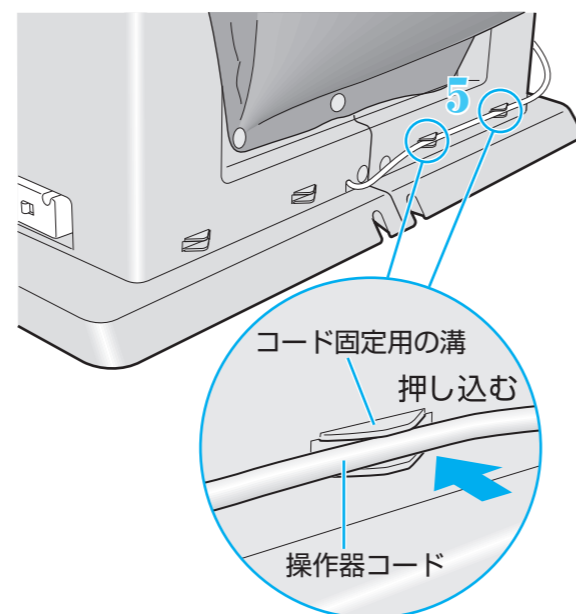
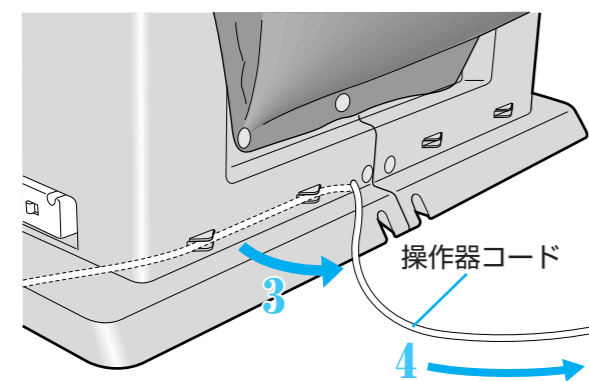
1 操作器の 切/入 を押して、電源を入れる

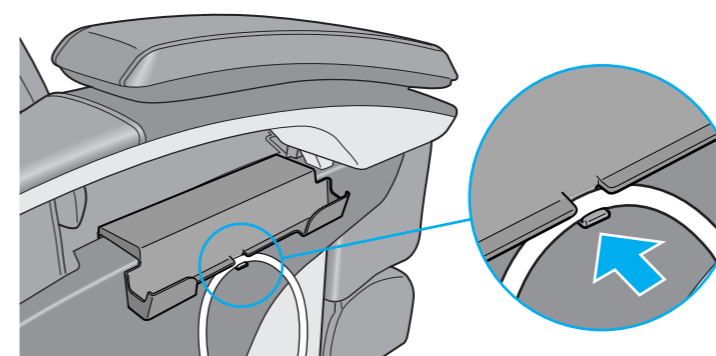
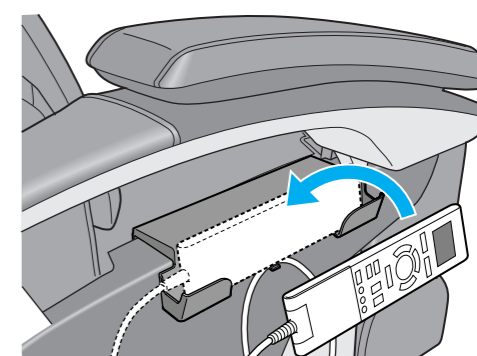
2 操作器の 脚のみ を押し続け、脚のせ台を一番上まで上げる
●ピピピッという音が鳴るまで押し続けてください。

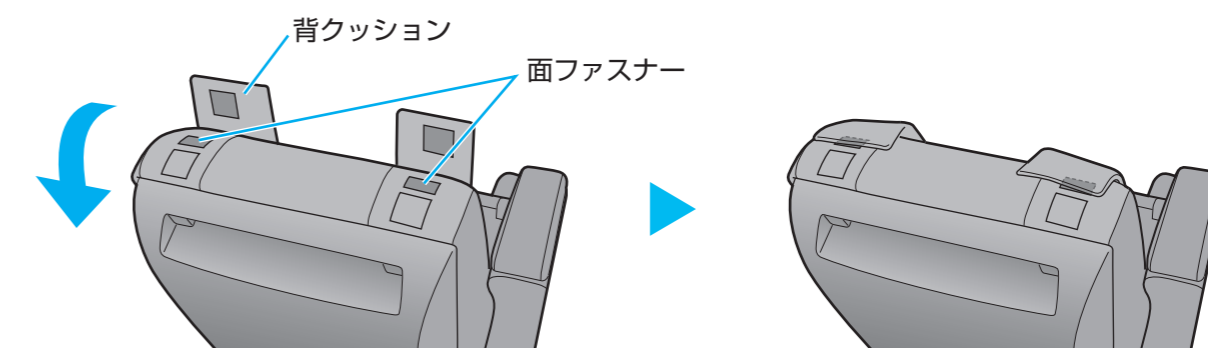
脚のせ台
2

3 操作器コードを固定用の溝からはずす

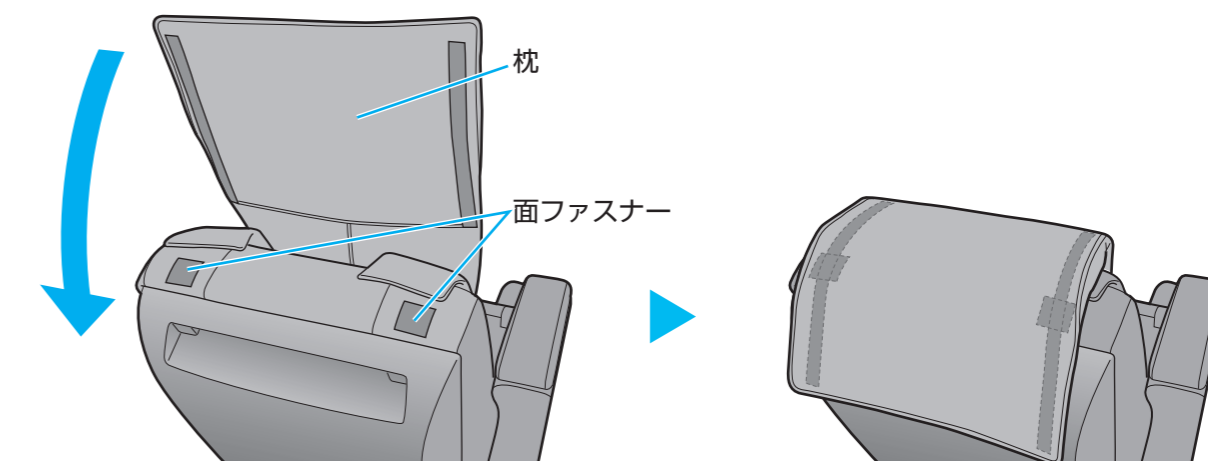
4 操作器コードを脚のせ台の下から左手側に通す

5 操作器コードを固定用の溝2か所に固定する
●固定しにくいときは、端からなぞるように押し込んでください。

6 操作器を置く

1 コードをトレイ下部の溝に止める

2 操作器トレイに操作器を置く

7 背クッションを取り付ける

本体の面ファスナーに背クッションを取り付ける

8 枕を取り付ける

面ファスナーに枕を取り付ける

●枕の位置の目安はP.39参照。

毎回マッサージをはじめる前に

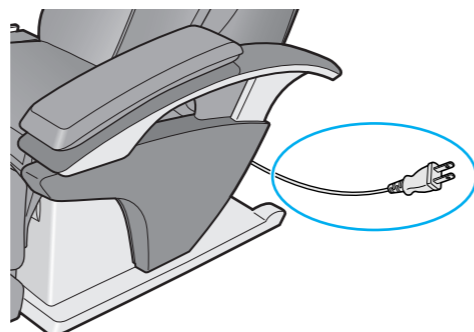
座る前に確認する

1 周囲を確認する

周囲に人やペットがいないか、物を置いていないか確認する

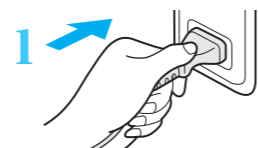
2 電源コードや電源プラグを確認する

⚠警告

- 電源プラグのほこり等は定期的にとる。
  守らないと、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
  ほこりは乾いた布でふいてください。
- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。（傷つけたり、加工したり、熱機器に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物をのせたり、束ねたりしない。）
  傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
  電源コードや電源プラグの修理は販売店または「修理ご相談センター」にご相談ください。

3 本体の電源を入れる

1 電源プラグを差し込む

2 施錠キーを使って施錠スイッチを「開」にする

3 電源スイッチを「入」にする

交流100V

⚠警告

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
  守らないと感電や発熱による火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや交流100V以外での使用はしない。
  （海外での使用や変圧器を用いた使用はできません。）
  感電・故障や発熱による火災の原因になります。
- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。
  感電の原因になります。

4 本体を確認する

1 布地に破れがないか確認する

⚠警告

- 使用前には、必ず背クッションを上げて、本体の布地が破れていないか確認する。また、その他の部分にも布地の破れがないか確認する。（どんなに小さな破れでも、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。）
  布地が破れた状態で使用するとけがや感電のおそれがあります。

2 本体に異物がはさまっていないか確認する

⚠注意

- 本体に異物がはさまっていないか確認してから座る。（背もたれ、脚・足裏マッサージ部、手・腕マッサージ部、座部に異物がはさまっていないか確認する。）
  守らないと事故やけがのおそれがあります。

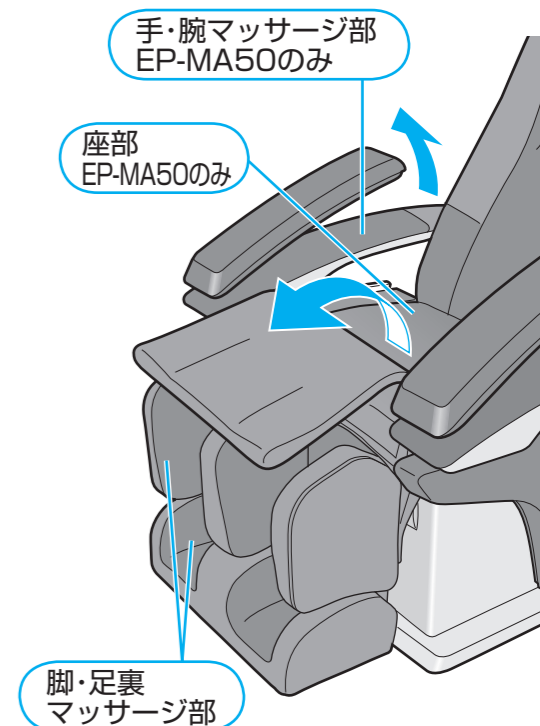
●機種によって確認する部分は異なります。

3 もみ玉が収納位置にあることを確認する

⚠注意

- もみ玉が収納位置にあることを確認してから座る。
  守らないと事故やけがのおそれがあります。

もみ玉が収納位置にない場合

切/入 を2回押すと収納位置に戻ります。

4 脚のせ台が完全に下がった状態にあることを確認する

⚠注意

- 脚のせ台が完全に下がっていないときに、脚のせ台の上にのったり、立ったり、物をのせたりしない。
  本体が転倒したり、脚のせ台の足先部が回転したりすることによる事故やけがのおそれがあります。

脚のせ台を下げるには

脚スライドレバーを引いて、必ず脚のせ台のスライドが完全に戻った状態であることを確認してから 切/入 を2回押してください。

簡単な使いかた

1 切/入 を押して、電源を入れる

（電源を入れてから3分以内にマッサージを開始しないと自動で電源が切れます）

2 各コースの操作を行う

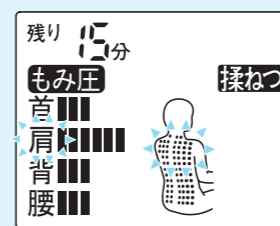
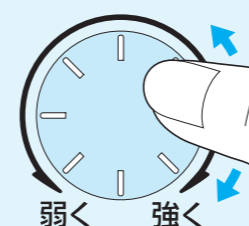
全身自動コース

●詳しい使いかたはP.22 ～ 25

から1つ選んで押す

より自分好みに合わせる

首･肩･背･腰のもみ圧（強さ）を調節したい

●ダイヤルをまわすとマッサージを行っている部位の強さを調節できます。（8段階で表示します）

首･肩だけマッサージしたい 背･腰だけマッサージしたい

部位切/入 首・肩 背・腰 でマッサージが不要の部位を「切」にできます

●「切」にした部位の表示が消灯します。

骨盤コース

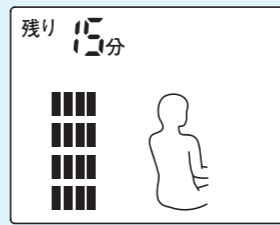
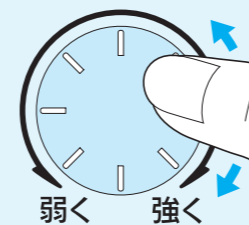
（EP-MA50のみ）

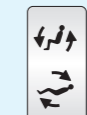
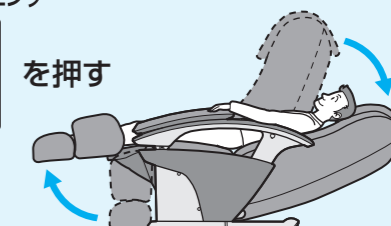
●詳しい使いかたはP.28 ～ 29

骨盤コース を押す

より自分好みに合わせる

もみ圧（強さ）を調節したい

●ダイヤルをまわすと強さを調節できます。（4段階）

効果的に使うために

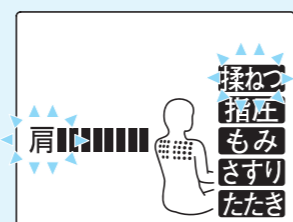
背もたれを倒す

リクライニング を押す

●詳しい椅子の調節方法はP.38 ～ 39

お好み動作

●詳しい使いかたはP.30 ～ 33

1 ふたを開け､お好みの部位と動作を選択する

●ボタンを押すたびに動作表示が変わります。

〈例〉肩を選択した場合

2 決定 を押して、動作を開始する

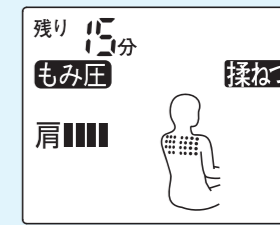
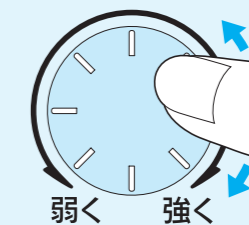
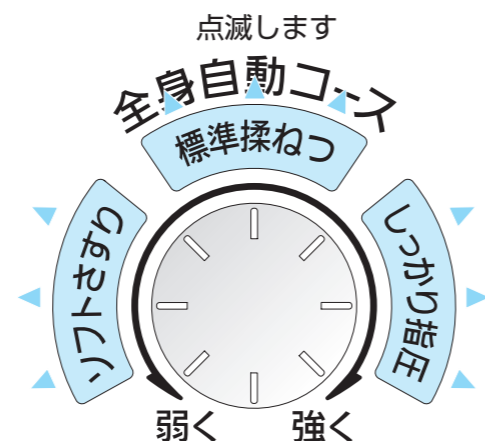
より自分好みに合わせる

もみ圧（強さ）を調節したい

●ダイヤルをまわすと強さを調節できます。（8段階で表示します）

全身を自動でマッサージしたい

1 切/入 **を押して、電源を入れる**

点滅します

（電源を入れてから3分以内にマッサージを開始しないと自動で電源が切れます）

2 ソフトさすり 標準揉ねつ しっかり指圧 **から1つ選んで押す**

全身自動コースの特徴（上半身）

さすりを中心に、血行を促進し、疲れた体をやさしく癒します。疲労感のあるときにおすすめです。

もみを中心に、筋肉を丹念にほぐします。少しコリを感じるときにおすすめです。

しっかり指圧

指圧を中心に、コリの芯までしっかりほぐします。コリがひどいときにおすすめです。

●コースのおおまかな内容は ▶P.25参照

体型センシングがはじまります

●正しく体型センシングできる身長の目安は約140cm ～約185cmの範囲です。

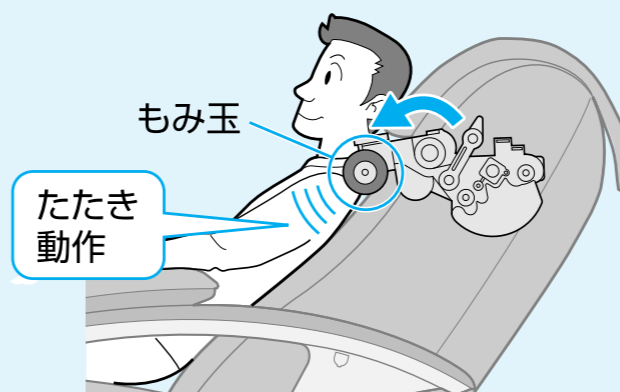
深く腰かけ、頭を枕につけてゆったりもたれてください

枕の下端が耳の位置にくるように枕の高さを調節してください。
▶P.39参照

自動的にマッサージポジションになります

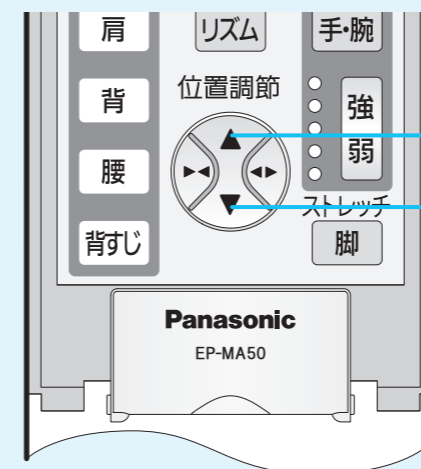
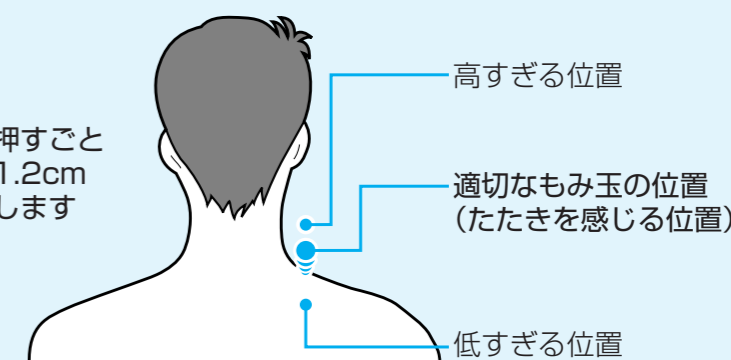
マッサージポジション

●マッサージポジションより深く倒れている場合は、自動リクライニングしません。

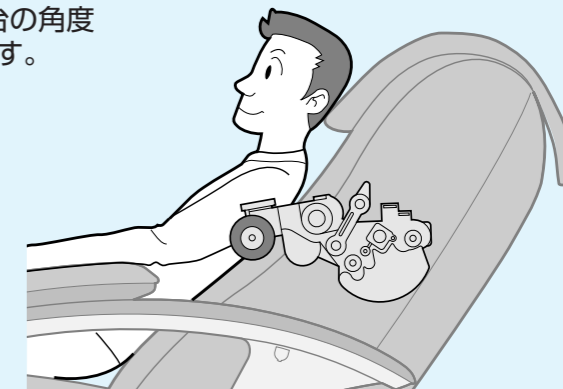
体型センシングを開始してから約30秒後にもみ玉が肩位置までゆっくり下がり、たたき動作がはじまります

●たたき動作がはじまるまで頭を枕から離さないでください。肩位置を正確に検出できなくなります。

たたき動作をしている位置で肩位置が合っているか確認してください

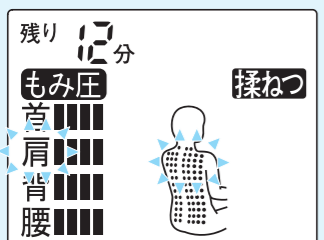
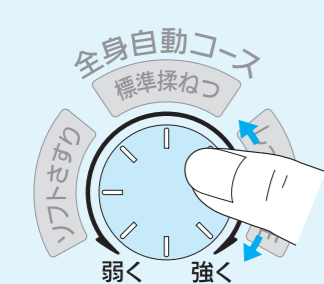
●肩位置が合っていないときはたたき動作中（約15秒間）に、位置調節ボタンで肩の高さを調節してください。

<操作器のふたを開けた状態>

たたき動作が終了すると体型センシング完了です

●肩位置をもとにおおよその身長を推定し、脚のせ台の角度を足裏がつくように自動で調節する場合があります。

●肩の位置が大きくずれる場合は一旦電源を切り、肩を背もたれにしっかりつけて再度**1**からやり直してください。

▶次のページにつづく

より自分好みに合わせるために

首・肩・背・腰のもみ圧(強さ)を調節したい

操作器のダイヤルをまわすと現在マッサージを行っている部位のもみ圧(強さ)を調節できます。

- 全身自動コースの場合は「もみ圧ジャストセンサー」がはたらきます。体のカーブや姿勢の変化があっても、常に設定した圧力でもみ玉が体に当たるように、もみ玉の動きを自動調節します。(詳しくはP.47参照)
- 現在マッサージを行っている部位は表示画面で確認できます。
- 強さは8段階で表示します。
- 強さが最大(表示8)、最小(表示1)になるとダイヤルを回し続けても強さは変わりません。

注意

一度に強さの段階を増やしすぎると、急激に強くなる場合があります。必ず1段階ずつ感触を確かめながら調節してください。

以下のような理由で強さを1段階調節しても、強さが変わったことを感じにくい場合があります。

- 動作が切り替わるタイミングで強さを調節した場合
- 個人差や部位ごとの感じかたが異なるため

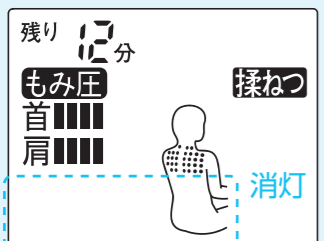
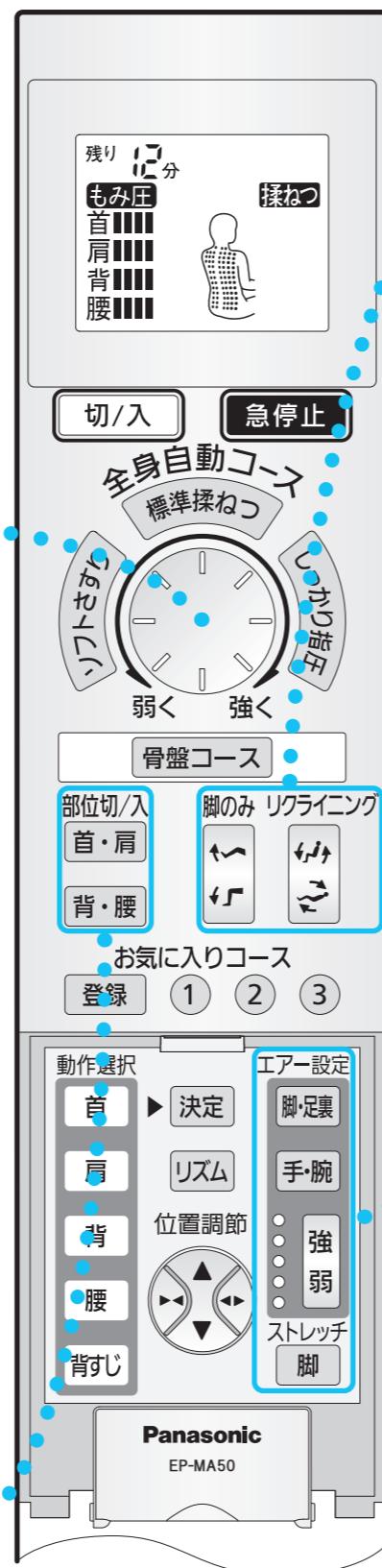
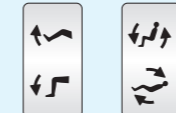
- 勢いよくダイヤルを回しても、安全のために急激に強さ段階が増えないようになっています。
- 一番強くしても物足りない場合、一番弱くしても強すぎる場合はP.47をご参照ください。

首・肩だけのマッサージにしたい 背・腰だけのマッサージにしたい

部位切/入

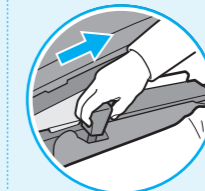
首・肩 を押すと「首・肩」のマッサージを「切」にします。

背・腰 を押すと「背・腰」のマッサージを「切」にします。

もう一度押すと解除します。
「首・肩」「背・腰」を同時に切ることはできません。

- 部位を切るとその部位の表示が消えます。(首・肩だけのマッサージの場合)

リクライニング角度・脚のせ台を調節して楽な姿勢でマッサージしたい

リクライニング角度と脚のせ台の角度を調節するには…

脚のみ　リクライニング

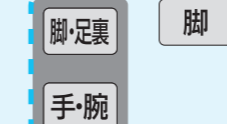
を押して調節します。

脚のせ台のスライド量を調節するには…

脚スライドレバーを手前に引いたまま足裏で押すとスライド量が調節できます。
(最大約12cmスライドします)

- 詳しいリクライニング角度・脚のせ台・枕の調節方法はP.38 ～ 39をご参照ください。

「脚・足裏」「手・腕」のエアーマッサージの切/入や強さ 脚ストレッチの切/入を設定したい (「手・腕」のエアーマッサージはEP-MA50のみ)

操作器下部のふたを開け…

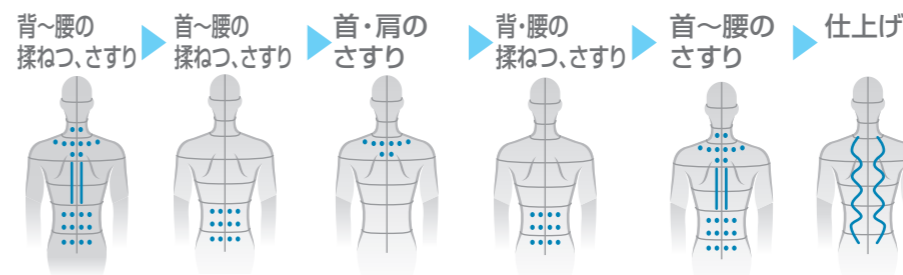
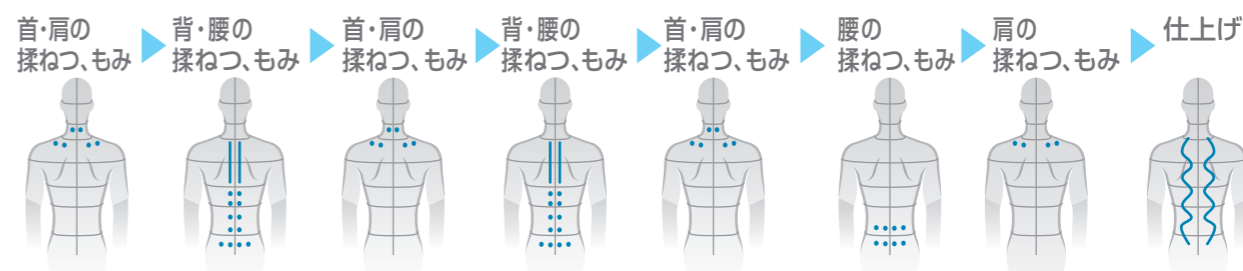
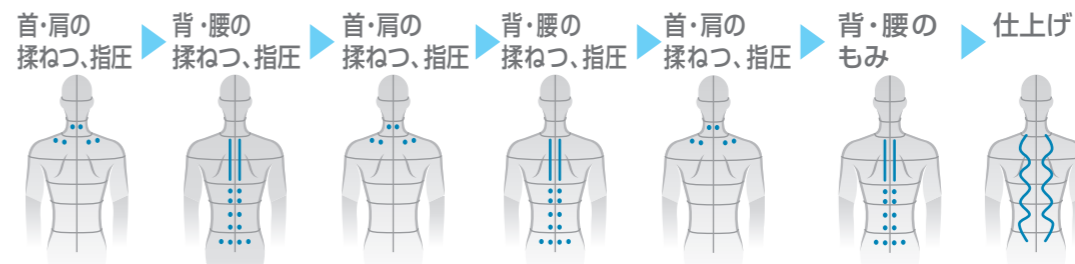
エアー設定　ストレッチ

で動作の切/入ができます。
(入:ボタン点灯　切:ボタン消灯)

でエアー強さを5段階で調節できます。

- 「脚・足裏」「手・腕」ごとの強さ調節はできません。
- 脚ストレッチの強さは調節できません。
- 脚ストレッチ動作中は強弱の点灯が消えます。

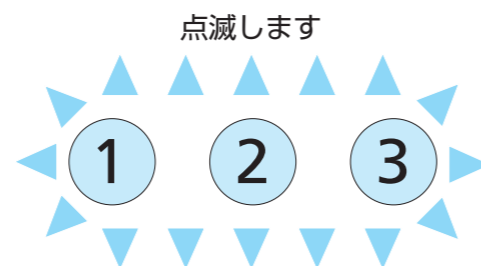
- 手・腕 はEP-MA50のみです。
- エアーマッサージ、脚ストレッチの上手な使いかたや動作内容はP.34 ～ 37をご参照ください。

全身自動コースの内容について

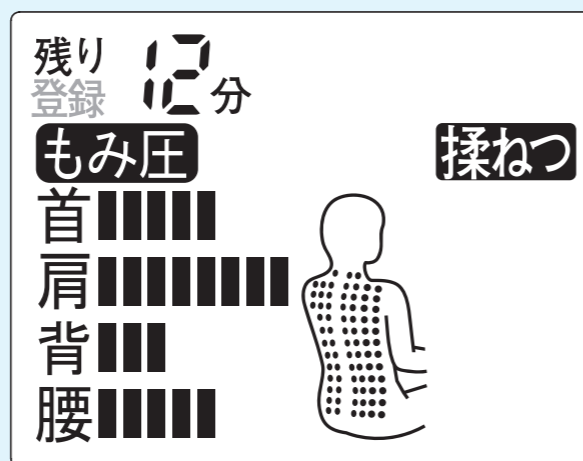
コース	1	2	3	4	5	6	7	8
ソフトさすりコース	背～腰の揉ねつ、さすり	首～腰の揉ねつ、さすり	首・肩のさすり	背・腰の揉ねつ、さすり	首～腰のさすり	仕上げ		
標準揉ねつコース	首・肩の揉ねつ、もみ	背・腰の揉ねつ、もみ	首・肩の揉ねつ、もみ	背・腰の揉ねつ、もみ	首・肩の揉ねつ、もみ	腰の揉ねつ、もみ	肩の揉ねつ、もみ	仕上げ
しっかり指圧コース	首・肩の揉ねつ、指圧	背・腰の揉ねつ、指圧	首・肩の揉ねつ、指圧	背・腰の揉ねつ、指圧	首・肩の揉ねつ、指圧	背・腰のもみ	仕上げ	

自分好みにもみ圧(強さ)を調節した「全身コース」を登録したい

1 マッサージ中に 登録 を押す

点滅します

1 2 3

2 登録したいボタンを 1 2 3 から選ぶ

登録できる内容
・部位ごとの強さ(骨盤コースの場合はコース強さ)
・「首・肩」「背・腰」の切／入
・エアーマッサージの切／入、強さの設定
・脚ストレッチの切／入
※ 1 2 3 を押した時点での設定値を登録します。

登録が完了すると
●登録したボタンと表示画面の「登録」が消えます。

●マッサージ中に本体の電源スイッチを「切」にしたり電源コードを抜くと登録した内容が保存されませんのでご注意ください。

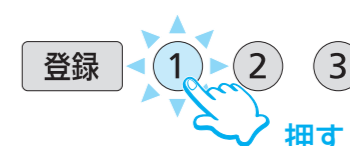
登録したコースではじめるには

1 切/入 を押して、電源を入れる

登録されているボタンが点滅します。

登録 1 2 3

2 お気に入りのコースを選択する

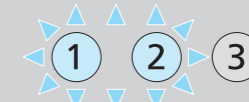
登録 1 2 3 押す

体型センシングのあと、登録されたコースのマッサージがはじまります。

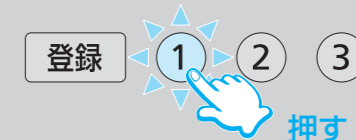
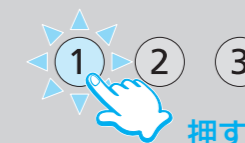
登録コースの内容を変更し、上書きしたい場合

登録 を押す

登録している内容を消したい場合

1 切/入 を押して、電源を入れる

登録されているボタンが点滅します。

2 消したいボタンを3秒以上押す

登録 1 2 3 押す

3 押したボタンのみが点滅に変わったらもう一度押す

点滅が消えて、消去完了です

骨盤まわりをほぐしたい(EP-MA50のみ)

骨盤コースとは

●背もたれと座面に内蔵されたエアーバッグによって骨盤まわりをひねったり、持ち上げたりして、骨盤まわりの筋肉をほぐすコースです。

1 切/入 を押して、電源を入れる

(電源を入れてから3分以内にマッサージを開始しないと自動で電源が切れます)

2 骨盤コース を押す

●自動でマッサージポジションになります。(マッサージポジションについてはP.22をご参照ください)
●もみ玉が腰付近を押して、人が座っていることを確認します。

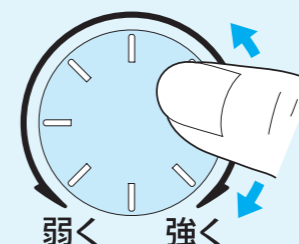
深く腰かけ、頭を枕につけてゆったりもたれてください

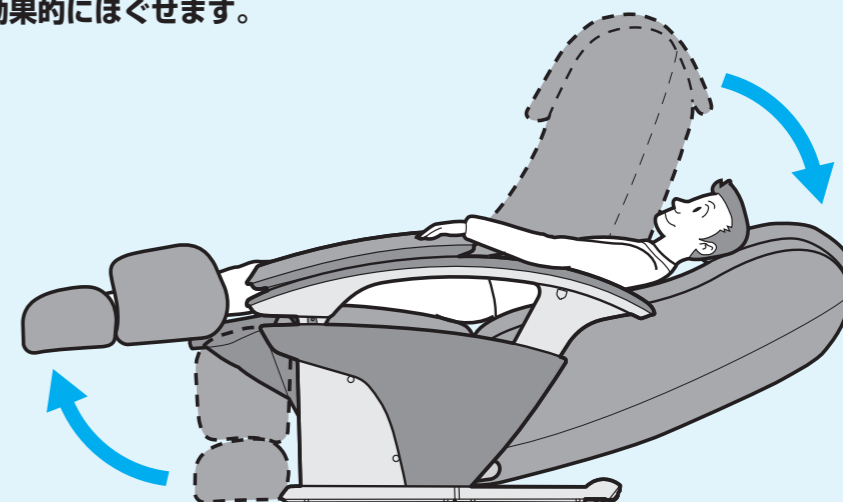
もみ玉が収納位置に戻って停止し、
骨盤コースがはじまります(約15分間)

●骨盤コースは骨盤まわりの筋肉をほぐすことに特化したコースです。
効果的に使っていただくために、もみ玉による上半身のマッサージや「脚・足裏」「手・腕」のエアーマッサージ、「脚ストレッチ」は同時に行いません。

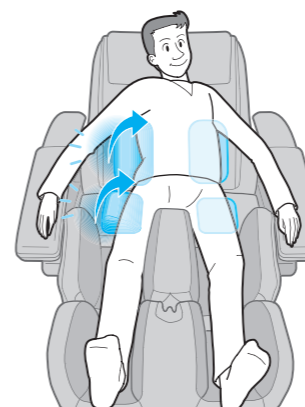
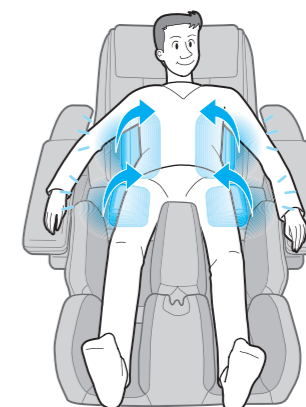
より自分好みに合わせるために

骨盤コースの強さを調節したい

操作器のダイヤルで強さを調節できます。(4段階)

骨盤コースを効果的にお使いいただくために

背もたれを倒すとより効果的にほぐせます。

●詳しいリクライニング角度・脚のせ台・枕の調節方法はP.38 ～ 39をご参照ください。

骨盤コースの動作内容について

骨盤まわりの筋肉を圧迫し、体をひねったり、反らすような動きをします。
はじめはやわらかめの動きから行い、徐々に強めの動作を行います。

「首をもみたい」「肩をたたきたい」などお好みの部位をお好みの動作で集中してマッサージしたい

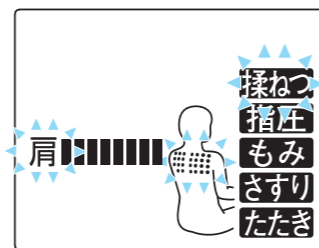
1 切/入 を押して、電源を入れる

（電源を入れてから3分以内にマッサージを開始しないと自動で電源が切れます）

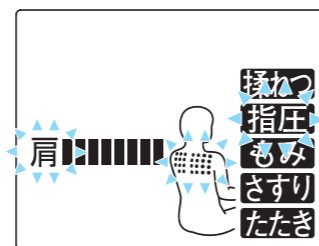
2 ふたを開ける

3 マッサージしたい部位を１つ選択する

●選択できるマッサージ動作表示の一覧が表示されます。

〈例〉肩を選択した場合

（背すじ を押すと背すじのばしを組み合わせた動作が選べます。）

4 お好みの動作を選択する

●ボタンを押すたびに動作表示が変わります。

●点滅しているのが現在選択されている動作です。

5 決定 を押して、動作を開始する

●体型センシングをしたあと、選択した部位に自動で動き、マッサージをはじめます。

お好み動作時の体型センシングについて

首・肩・背すじ…通常のセンシングを行います。
背・腰…簡易的なセンシングを行います。（肩までもみ玉があがりません）

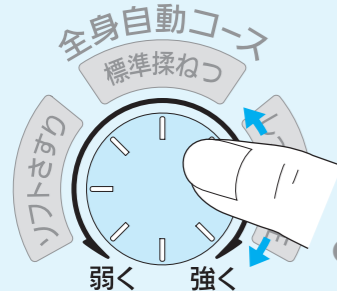
途中で動作を変えるときは

手順3～5で再度選択する

●3で再選択してから約30秒以内に 決定 を押さないと、再選択した内容が自動的に取り消されます。

▶次のページにつづく

より自分好みに合わせるために

もみ圧(強さ)を調節したい

操作器のダイヤルをまわすともみ圧(強さ)を調節できます。

残り 12分
もみ圧 揉ねつ
肩

- お好み動作の場合は「もみ圧ジャストセンサー」は解除されています。(もみ圧ジャストセンサーについてはP.47をご参照ください)
- 強さは8段階で表示します。
- 強さが最大(表示8)、最小(表示1)になるとダイヤルを回し続けても強さは変わりません。

注意
一度に強さの段階を増やしすぎると、急激に強くなる場合があります。必ず1段階ずつ感触を確かめながら調節してください。

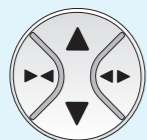
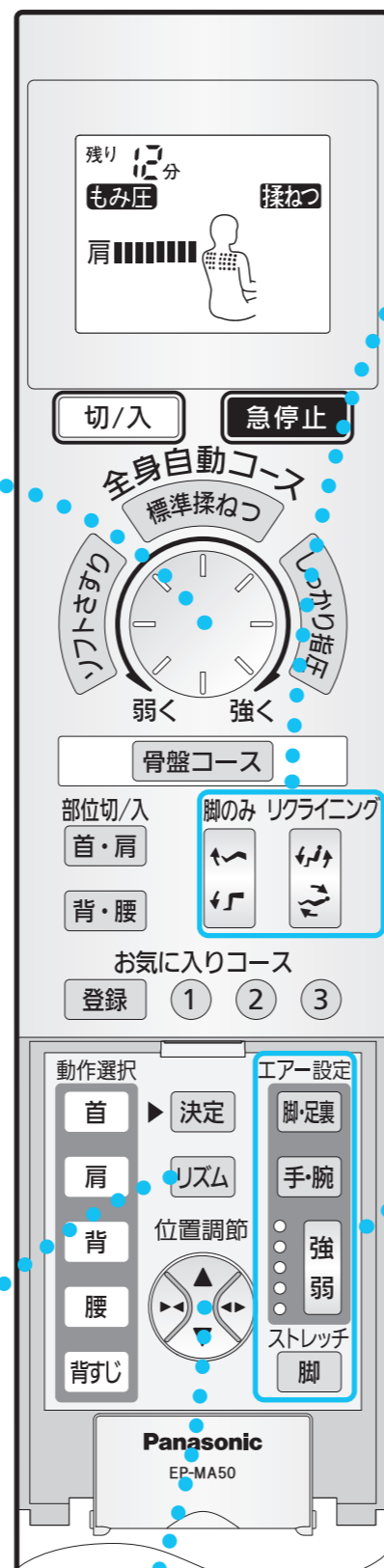
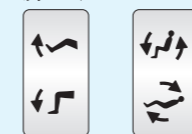
- 勢いよくダイヤルを回しても、安全のために急激に強さ段階が増えないようになっています。
- 一番強くしても物足りない場合、一番弱くしても強すぎる場合はP.47をご参照ください。

行っている動作にたたきのリズムを加えたい

リズム **を押します。**

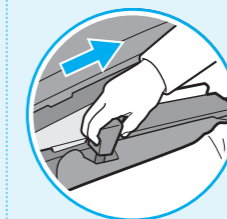
- たたきだけの動作を行いたい場合はP.30 ~ 31の❸~❺の操作で選択してください。

位置を微調節したい

位置調節

で調節できます。

リクライニング角度・脚のせ台を調節して楽な姿勢でマッサージしたい

リクライニング角度と脚のせ台の角度を調節するには…

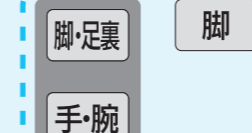
脚のみ リクライニング

を押して調節します。

脚のせ台のスライド量を調節するには…

脚スライドレバーを手前に引いたまま足裏で押すとスライド量が調節できます。
(最大約12cmスライドします)

- 詳しいリクライニング角度・脚のせ台・枕の調節方法はP.38 ~ 39をご参照ください。

「脚・足裏」「手・腕」のエアーマッサージや脚ストレッチを同時に使いたい

(「手・腕」のエアーマッサージはEP-MA50のみ)

で切/入ができます。(入:ボタン点灯　切:ボタン消灯)

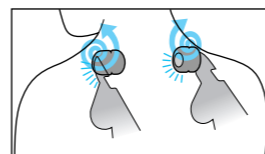
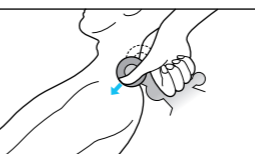
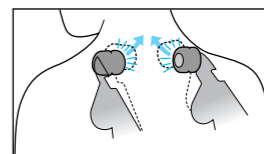
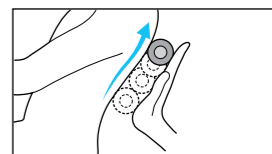
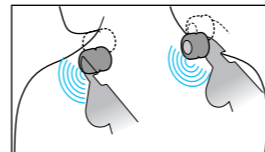
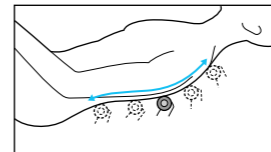
でエアー強さを5段階で調節できます。

- 「脚・足裏」「手・腕」ごとの強さ調節はできません。
- 脚ストレッチの強さは調節できません。
- 脚ストレッチ動作中は強弱の点灯が消えます。

- 手・腕 はEP-MA50のみです。
- エアーマッサージ、脚ストレッチの上手な使いかたや動作内容はP.34 ~ 37をご参照ください。

お好み動作の内容について

(イラストは動作のイメージ図です)

揉ねつ
ポイントで小さくこねるような動作

指圧
コリポイントを垂直に圧迫する動作

もみ
グイッともみこむ動作

さすり
広くやさしくなでるような動作

たたき
左右交互にトントンとたたく動作

背すじのばし
背すじにそって体を伸ばす動作

- それぞれの動作は選んだ場所に合わせた動き方をします。たとえば、「首」の指圧と、「肩」の指圧は異なる動作です。

「脚・足裏」「手・腕」のエアーマッサージや脚ストレッチがしたい（「手・腕」のエアーマッサージはEP-MA50のみ）

1 切/入 **を押して、電源を入れる**

（電源を入れてから3分以内にマッサージを開始しないと自動で電源が切れます）

2 **ふたを開ける**

3 エアー設定 脚・足裏 手・腕　ストレッチ 脚 **で動作を選択する**

（入：ボタン点灯　切：ボタン消灯）

強 弱 でエアー強さを5段階で調節できます。

- 「脚・足裏」「手・腕」ごとの強さ調節はできません。
- 脚ストレッチの強さは調節できません。
- 脚ストレッチ動作中は強弱の点灯が消えます。

- 手・腕 はEP-MA50のみです。
- エアーマッサージや脚ストレッチの上手な使いかたや動作内容はP.35 ～ 37をご参照ください。

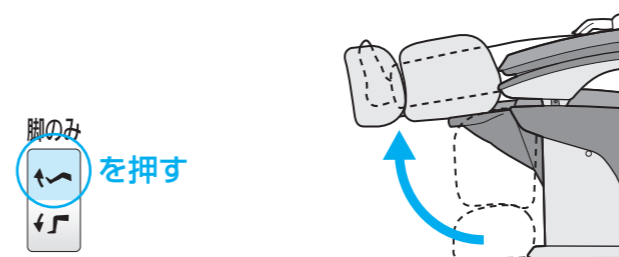
脚・足裏マッサージの上手な使いかた

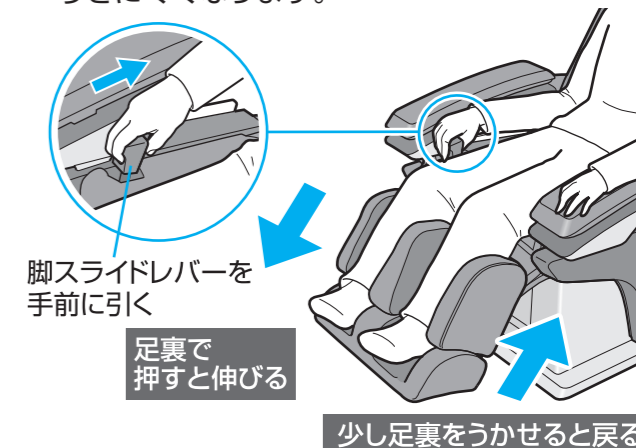
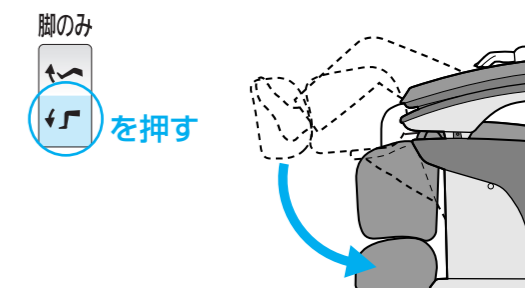
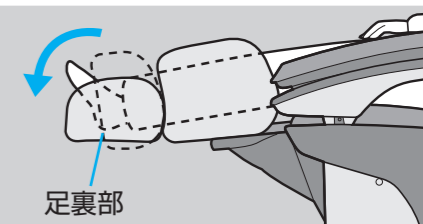
- 脚・足裏マッサージの動作内容についてはP.37をご参照ください。

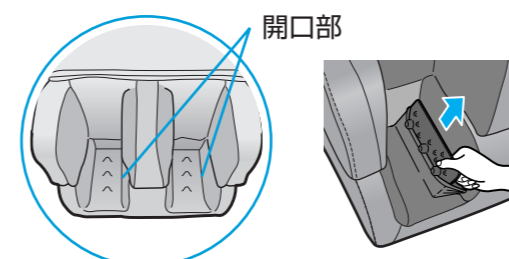
足裏がつくように脚のせ台を調節してください

小柄な体格の方は

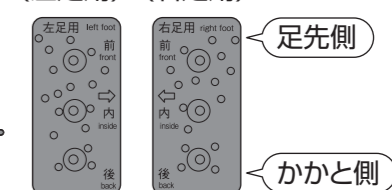
- 脚のせ台を上げると足裏がつきやすくなります。

を押す

大柄な体格の方は

- 脚スライドを調節するとひざがうきにくくなります。

- 脚のせ台を下げてもひざがうきにくくなります。

足裏部を倒して、脚を広くマッサージすることもできます

足裏指圧シートについて

足裏指圧シートは着脱することができます。

取り付けるときは

足裏指圧シートの向きと左右に注意して、開口部から挿入してください。

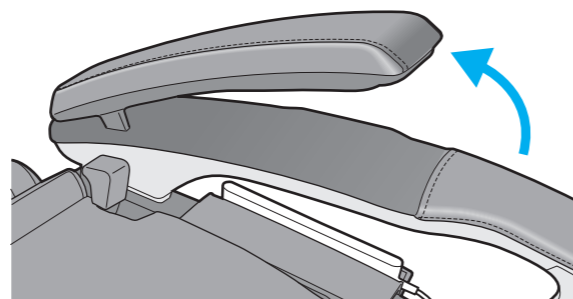
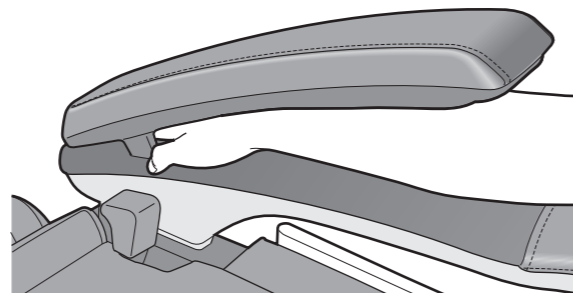
突起側が上

▶次のページにつづく

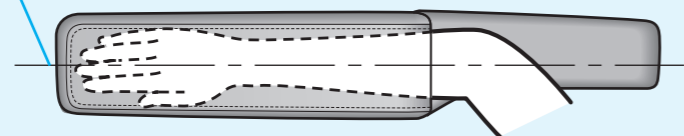
手・腕マッサージの使いかた（EP-MA50のみ）

●手・腕マッサージの動作内容についてはP.37をご参照ください。

⚠注意

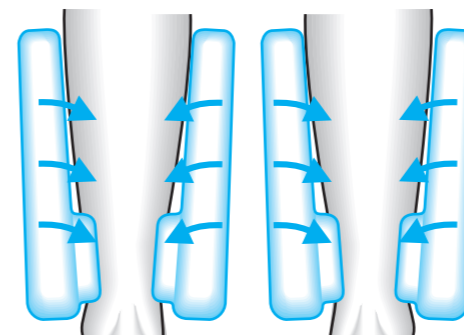
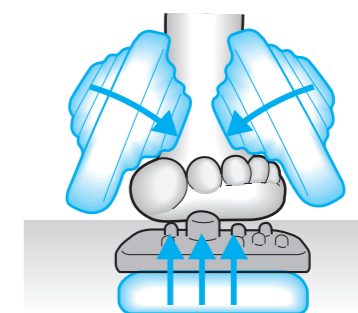
●手・腕をマッサージするときはつけ爪・時計・指輪などの硬いものをはずす。
守らないとけがのおそれがあります。

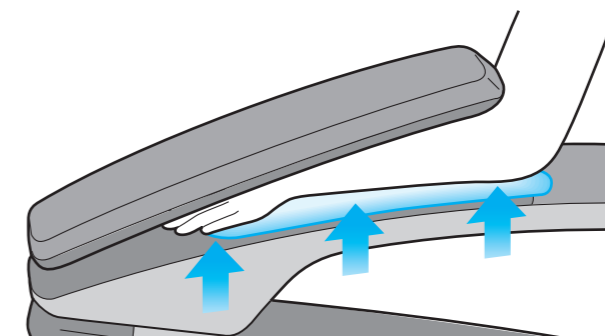
1 手・腕マッサージ部を開く

2 指を伸ばして手を入れる

手・腕マッサージの上手な使いかた

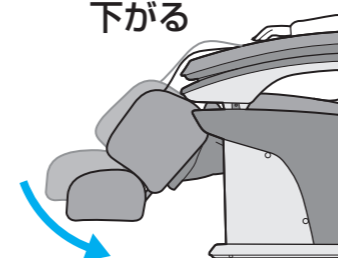
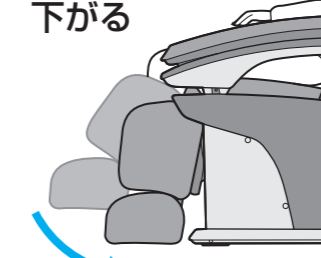
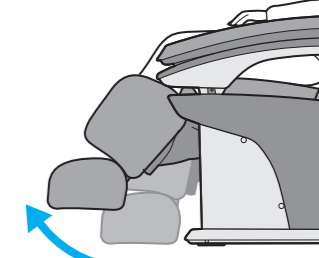
手・腕マッサージ部の中心に手・腕を置いてください。

手・腕の位置を合わせにくいときは、
背もたれを起こしてください。

脚・足裏マッサージ/手・腕マッサージ/脚ストレッチの動作内容について

脚・足裏マッサージの動作内容

脚：ふくらはぎを両側からはさんで
絞り上げるように圧迫します。

足裏：足を横と下からエアーで
圧迫します。

手・腕マッサージの動作内容

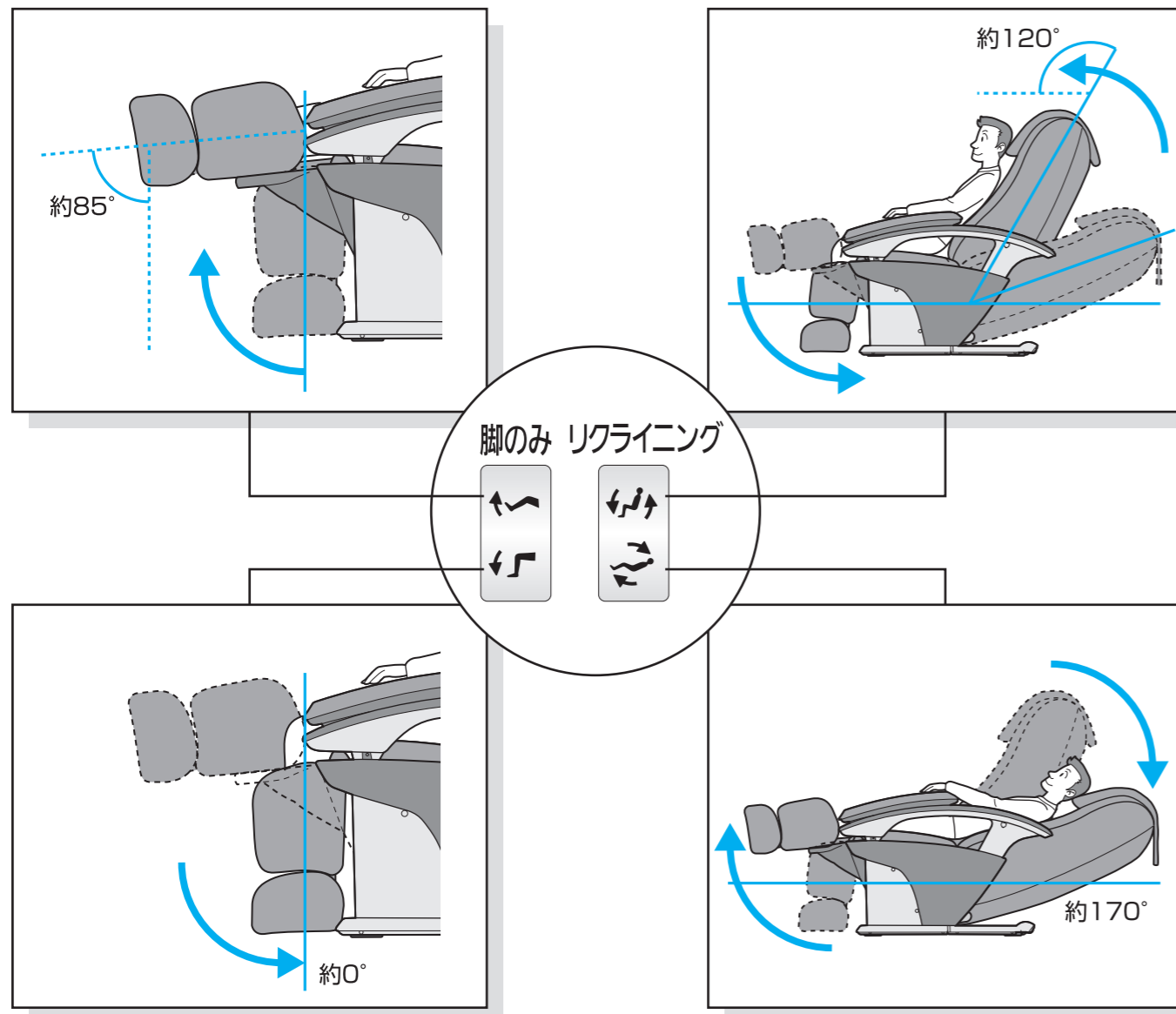
手・腕：手～腕までを上下にはさむように圧迫します。

脚ストレッチの動作内容

1 脚全体をエアーでつかんだあと、脚のせ台がマッサージポジションから約10°下がり軽くストレッチします。

2 脚のせ台が元の角度に上がったあと、約25°下がり、さらにストレッチします。

3 動作が終わったら、脚のせ台が、動作前の角度に戻ります。

リクライニング角度・脚のせ台・枕を調節する

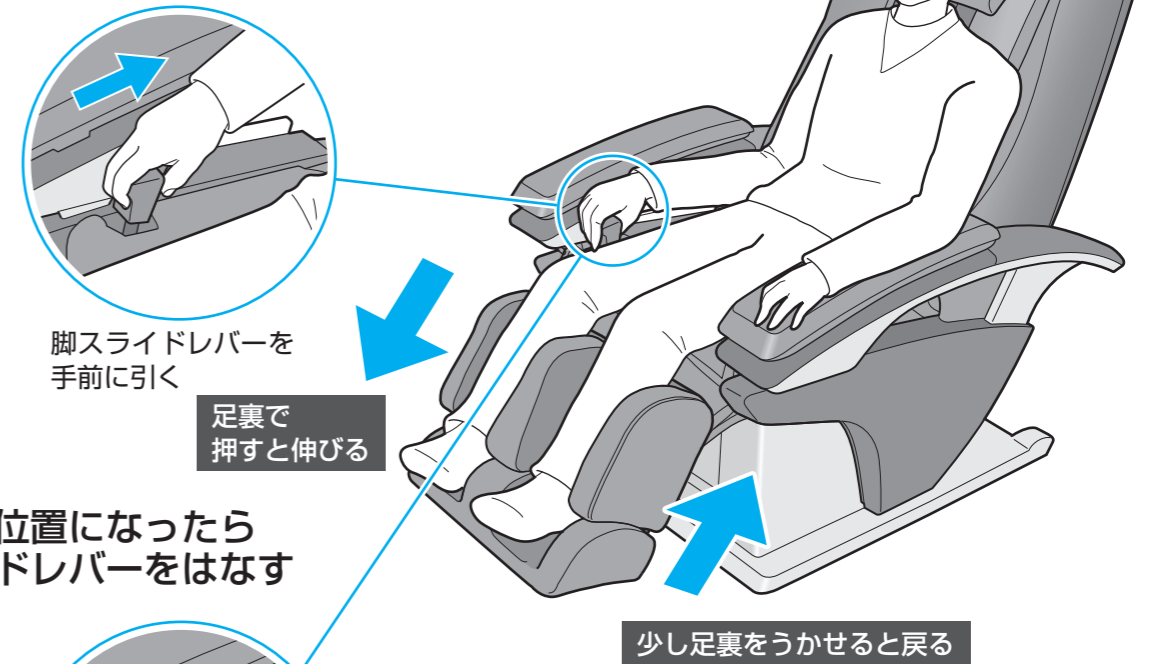
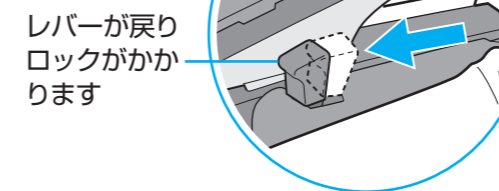
リクライニング角度と脚のせ台の角度を調節する

1 切/入 を押して、電源を入れる

2 脚のみ リクライニング を押して、調節する

●押している間、「ピピピッ」と鳴るまで動き続けます。
●脚のせ台は少し遅れて動き出すことがあります。

●背もたれや脚のせ台の上げ下げを連続して何度も繰り返すなど、お好みの姿勢にする目的以外で使用することはおやめください。

脚のせ台をスライドさせる

1 脚スライドレバーを引いたままでお好みの位置にスライドさせる
（最大約12cmスライドします）

2 お好みの位置になったら脚スライドレバーをはなす

枕を正しく調節する

1 枕をはがす

2 枕の下端が耳の位置にくるように調節する

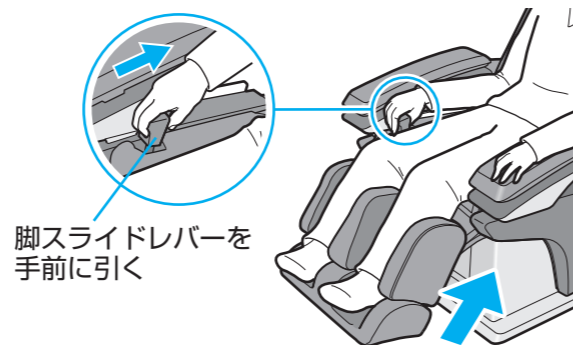
●枕の位置が低すぎると、首周辺のマッサージのさまたげになります。
●リクライニング角度が変わると枕の位置がずれることがあります。そのときは再び調節してください。

3 面ファスナーに枕を取り付ける

マッサージを終了する

マッサージを途中で終了したいときは

脚のせ台のスライドを完全に戻し 切/入 を押す

●もみ玉が収納位置まで動きます。
●自動で脚のせ台が下がり背もたれが起きます。
（背もたれはもみ玉が収納してから動きます）

タイマー機能について

マッサージを開始してから約15分で自動的に停止します。

●足裏部が倒れるので、安全に立ち上がれるように脚のせ台が自動で下がります。

脚のせ台のスライドを伸ばしている場合は足裏部が床にあたって完全に収納されません。
完全に収納するには脚スライドレバーを引き、脚を浮かせてください。

●背もたれは自動では起きません。
切/入 を2回押すと背もたれが起き上がります。

異常を感じたときは

急停止 を押す

●すべての動作がその場で停止します。
●転倒に十分注意しながら、本体から降りてください。

電源を切る

⚠警告

●**使用後は必ず電源スイッチを「切」、施錠スイッチを「閉」にし、施錠キーを抜く。**
守らないとお子様のいたずらによる事故やけがのおそれがあります。

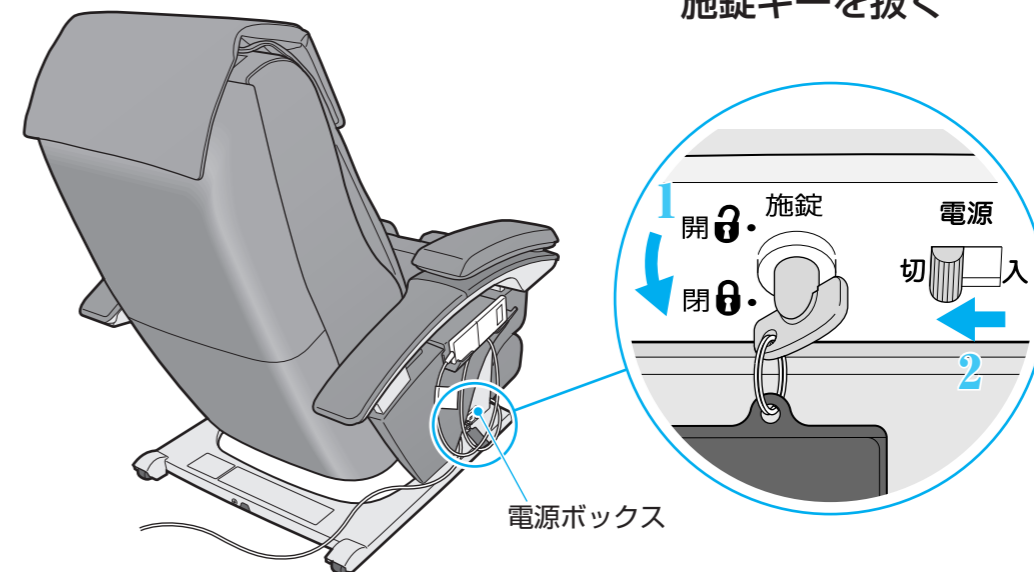
⚠注意

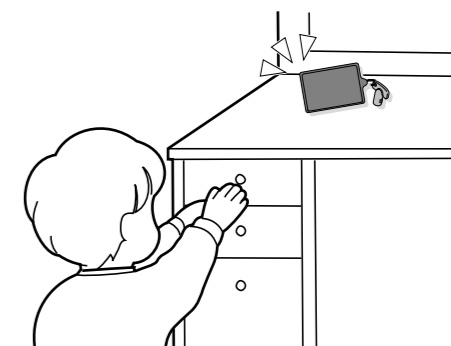
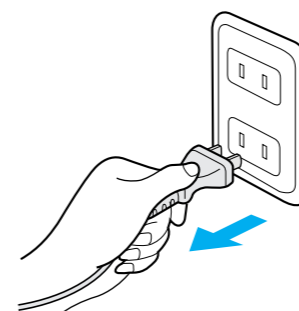
●**使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。**
ホコリや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。

●**電源プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く。**
守らないと感電やショートのおそれがあります。

●**施錠キーは、子供の手の届かない場所に保管する。**
守らないと誤飲やいたずらによる事故やけがのおそれがあります。

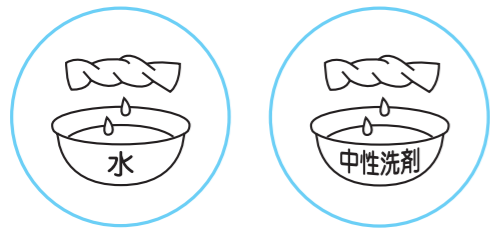
1 電源スイッチを「切」にする

2 施錠スイッチを「閉」にして施錠キーを抜く

3 電源プラグを抜く

4 子供の手の届かない場所に施錠キーを保管する

お手入れのしかた

⚠注意

●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電ややけどのおそれがあります。

合成皮革部分

柔らかい乾いた布でふく

●市販のレザーお手入れ用品(化学ぞうきん)をご使用の際は、その注意書きに従ってください。
●汚れがひどい場合は、以下の手順でふきとってください。

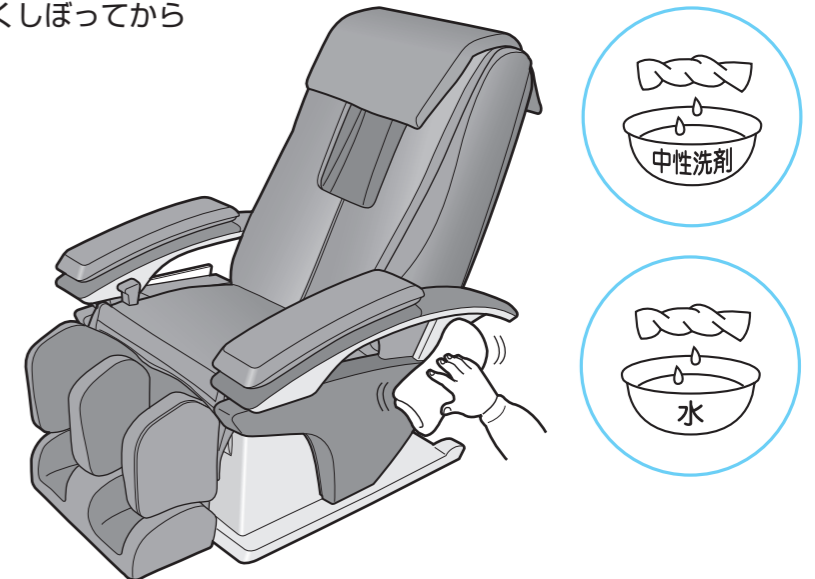
①水または中性洗剤をぬるま湯で3 ～ 5%位にうすめたものに、
柔らかい布をひたし、よくしぼる。
②表面をたたくようにふく。
③水を含ませた布をよくしぼってから、洗浄液をふきとる。
④柔らかい乾いた布でふく。
⑤自然乾燥させる。

●汚れが落ちにくい場合は、市販の「メラミンフォーム材質のスポンジ」で同様に中性洗剤を含ませふき取ってください。
●ドライヤーなどで急激に乾燥させないでください。
●合成皮革部に色が移ることがありますので、ジーンズや色柄ものなど、色落ちしやすい衣類でのご使用はご注意ください。
●変色の原因になりますのでビニール製品などを長時間接触させないでください。
●シンナーやベンジン、アルコールなどの薬品は絶対使用しないでください。

プラスチック部分

1 中性洗剤を含ませた布をよくしぼってからふく
●シンナーやベンジン、アルコールなどの薬品は絶対使用しないでください。

2 仕上げに水を含ませた布をよくしぼってからふく
●操作器をお手入れする際は、特によくしぼってからふくようにしてください。

3 自然乾燥させる

布地部分

1 中性洗剤を含ませ、よくしぼった布でふく
●シンナーやベンジン、アルコールなどの薬品は絶対使用しないでください。

2 特に汚れがひどい場合は、水または中性洗剤でブラシ洗浄する
●こすりすぎると、布地をいためることがあります。

3 仕上げに水を含ませ、よくしぼった布でふく

4 自然乾燥させる

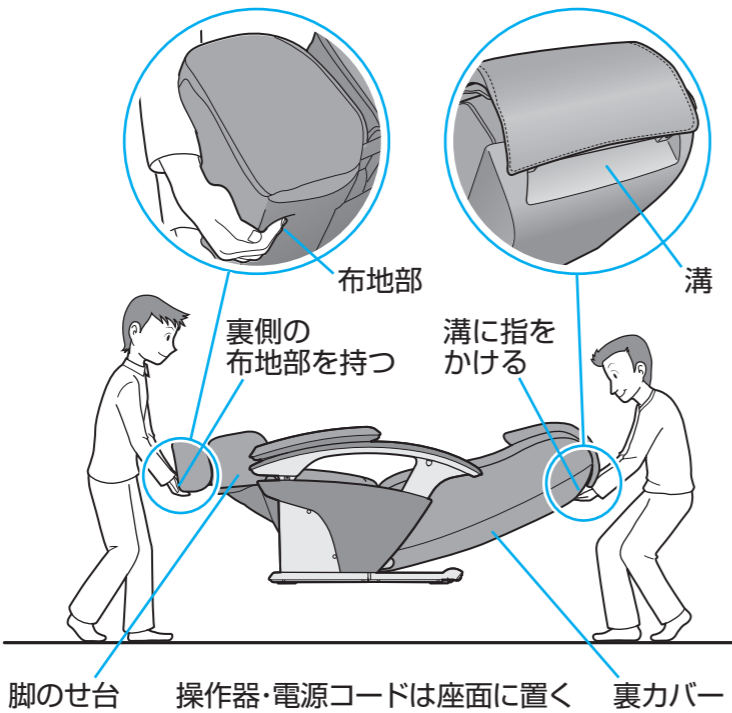
本体を移動するときは

⚠注意

- ●本体を移動するときは、必ず脚のせ台のスライドを完全に戻す。
  守らないと移動中にスライドが戻り、けがをするおそれがあります。
- ●人をのせたまま移動しない。
  転倒による事故やけがのおそれがあります。
- ●キャスターで移動するときは、周囲の障害物を取り除き、背もたれを完全に起こした状態で脚のせ台を腰より低く持ち上げ(床から約80cm以下)、ゆっくり移動する。
  守らないと転倒による事故やけがのおそれがあります。

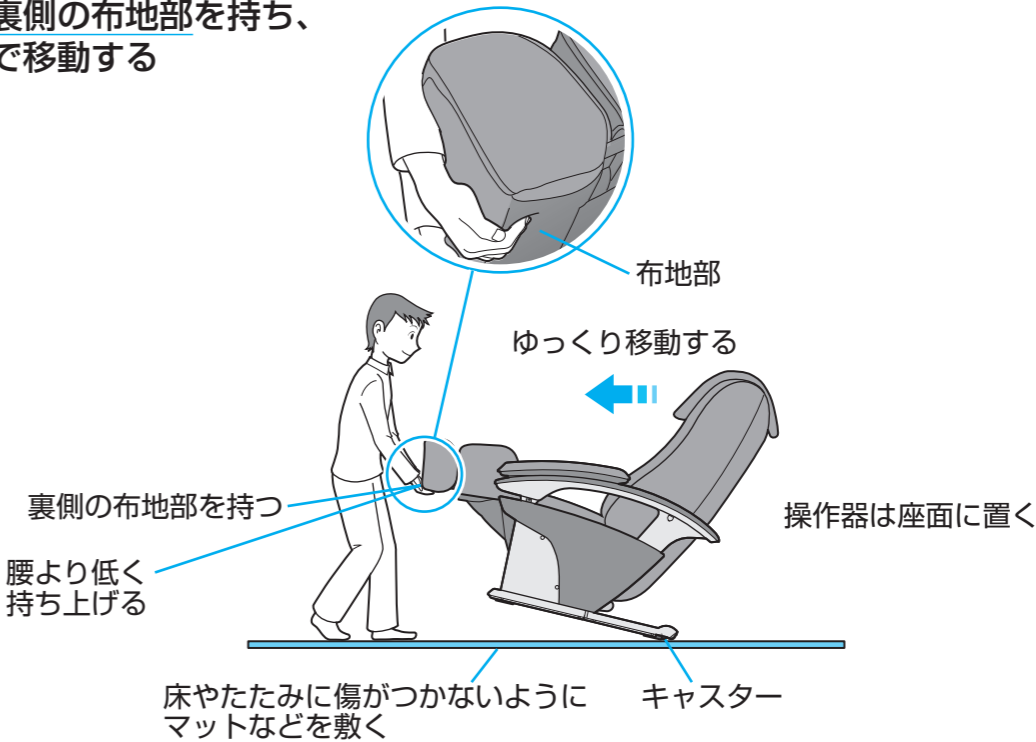
●本体を移動するときは2人で持ち上げて移動するか、マットを敷くなど、床に傷がつかない配慮をしたうえでキャスターを使って移動してください。
設置された状態のまま、本体を引きずったり、押したりすると床やたたみに傷がつくおそれがありますのでおやめください。

2人で持ち上げて移動する

前後から二人で脚のせ台の裏側の布地部と
背もたれの裏カバーの溝を持って移動する

※正しい持ちかたをしないと、本体を落として床を傷つけるおそれがあります。
特にひじ掛けを持って運ぶと、破損のおそれもありますので絶対におやめください。

本体を下ろすときは
●十分足元に注意してゆっくり下ろしてください。
●脚のせ台は最後まで手をそえて下ろしてください。
途中で手を離すと勢いよく戻ります。

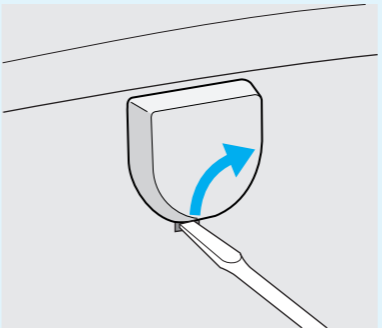
キャスターで移動する

脚のせ台の裏側の布地部を持ち、
キャスターで移動する

本体を下ろすときは
●十分足元に注意してゆっくり下ろしてください。
●脚のせ台は最後まで手をそえて下ろしてください。
途中で手を離すと勢いよく戻ります。

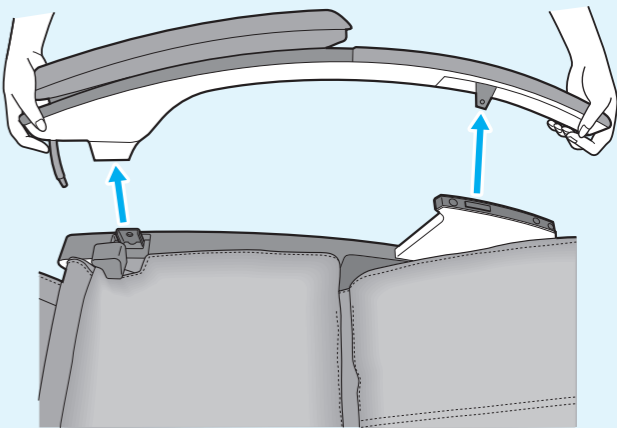
ひじ掛けのはずしかた

ひじ掛けをはずすと移動しやすくなります。

1 エアープラグを取りはずす
(P14手順2参照)

2 ネジキャップを取りはずす
●マイナスドライバーをツメの部分に差し込み押し上げる

3 取付ネジを取りはずす
(P14手順1の2参照)

4 ひじ掛けを両手で持って引き上げる

Q&A

使用できますか？

Q 病気で通院しているけど、使ってもだいじょうぶ？

A 通院先の医師と相談のうえ、使用してください。

マッサージは「触圧刺激」といって、筋肉に圧力をかけてほぐし、血行を促進する行為です。病気によっては、悪化を招く可能性もありますので、必ず医師に相談してください。
（P.4 ～ P.5参照）

体型センシング※について

Q 体型センシングってどんな動きをするの？

A 以下のような動きかたをして肩位置を検出します。

①「ピッピッ…」という体型センシング音とともに、もみ玉が背すじにそって首付近まで上昇します。

▼

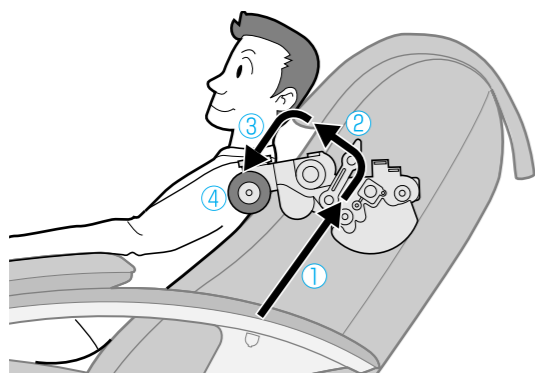
②もみ玉がせり出してきます。
（肩位置が合っていない場合には再度上昇し、肩位置を合わせる動作を繰り返します。）

▼

③もみ玉が肩位置までゆっくり下がってきます。

▼

④肩の位置でたたき動作を約15秒間行います。

※センシング…測定動作のこと

● 正しく体型センシングできる身長の目安は約140cmから約185cmの範囲です。

Q 身長が約140cm未満の人や、約185cm以上の人は使えないのですか？

A お使いいただけます。

体型センシングの際に、肩位置が合わない場合がありますので、下記のような方法でご使用することをおすすめします。

〈約 140cm 未満の場合〉

座面に座布団を敷いて深く腰かけてお使いください。

〈約 185cm 超の場合〉

背もたれを倒して前へ体をずらしてお使いください。

Q 体型センシングやマッサージの途中でボタンが点滅し、ピピピッ、ピピピッとブザーが鳴り、動作が終了したのですが…？

A 以下のような理由で、人体を検知できない場合は安全のため停止します。

①人が座っていない。
②頭や背中を背もたれから浮かせている。
③背もたれ部にクッションなどの敷物をしていたり、厚手の服を着ている。
深く腰かけ、頭を枕につけるようにゆったりもたれ、
再度 [切/入] を押してはじめてください。

Q 体型センシングしても肩位置が合わないのですが…
（毎回、肩位置がずれるのですが）

A 座る位置や姿勢（前かがみなど）によって正しく体型をセンシングできない場合があります。

位置調節ボタンで肩位置を調節してください。
（P.32参照）
より正しくセンシングするためには、椅子に深く腰かけ、頭を枕（背クッション、背もたれ）につけるようにゆったりともたれてください。

上半身のマッサージについて

Q もみ圧ジャストセンサーとはどんな機能ですか？

A もみ機構部に内蔵された圧力センサーによって、もみ玉が体に当たっている圧力を検知し、設定のもみ圧よりも強すぎていたり、弱すぎていたりする場合には、設定のもみ圧になるようにもみ玉の動きをすぐさま自動調節する機能です。
これによって体のカーブや姿勢の変化があっても、常に設定した圧力でもみ玉が体に当たります。

Q 全身自動コースを「一番強くしても物足りないのですが…」
または、「一番弱くしても強すぎるのですが…」

A 下記の方法を試してください。

<全身自動コースを一番強くしても物足りない場合>

背クッションをはがすともみ玉のあたり感が強くなります。
※自動コースではもみ玉が体に当たる「もみ圧ジャストセンサー」が働くため背もたれを倒して体重をかけても、強くなりません。ただ、腰は逃げにくくなるため、若干強く感じられることはあります。

局所を強くもみたい場合は「お好み動作」をお使いください。
※お好み動作ではもみ玉が体に当たる「もみ圧ジャストセンサー」を解除しています。背もたれを倒すと体重がかかりより強くマッサージができます。

<全身自動コースを一番弱くしても強すぎる場合>

背クッションと体の間に布や毛布などをはさむともみ玉のあたり感がやわらかくなります。

Q 位置調節をしてもすぐに動かないのですが…

A 調節ボタンを押したタイミングによっては、すぐに動かないことがあります。
（わずかな時間差がありますが、異常ではありません）
また、ボタンを押して「ピピピッ」と音が鳴るときは、限界点まで達しており、それ以上調節できません。

Q 左右の強さが異なるように感じるけれどだいじょうぶ？

A 構造上異なって感じる場合があります。

より自然な感覚でマッサージを行うために交互たたき機構を採用しているため、もみ玉の位置がずれて動作することがあります。そのため左右で強さが異なって感じることがありますが、故障ではありません。

手・腕のマッサージについて
（EP-MA50）

Q 手・腕マッサージは左右同時にできないの？

A 異常や危険を感じたときに、すぐ停止できるように左右交互にマッサージしています。

Q 手・腕エアーマッサージの後、手・腕の裏に赤い点が残るんですが…

A 使用後、手や腕にマッサージのあとが残る場合がありますが時間とともに消えていきますので問題ありません。

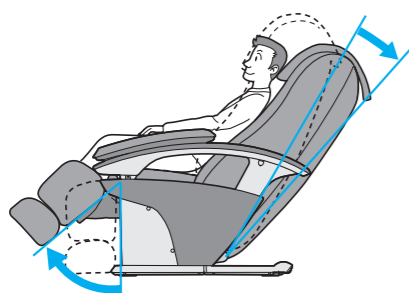
リクライニングについて

Q 背もたれや脚のせ台の角度が自動で変わる場合がありますが…

A 以下のような場合に自動で角度が変わります。

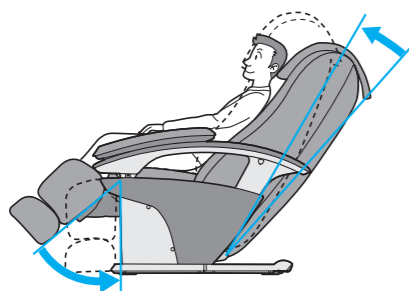
①「全身自動コース」・「骨盤コース」「お好み動作」を開始したとき。

自動でマッサージポジションまで倒れます。

※すでにマッサージポジションよりも倒れている場合は、角度は変わりません。

②［切/入］を押して、マッサージを終了したとき。

自動で起きた状態に戻ります。

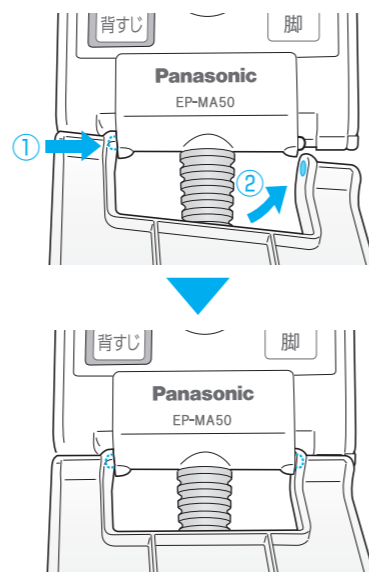
※１５分タイマーで終了した場合は脚のせ台だけ戻ります。

※［急停止］で終了した場合は、自動で角度は変わらず、その場ですべての動作が停止します。

操作器について

Q 操作器のふたがとれてしまったけど、直りますか？

A 下記の手順で取り付けてください。

①操作器ふたの左下部を本体の突起部に合わせる。

②操作器ふたの右下部の溝（誘い部）に本体の突起部を合わせ、矢印の方向へ押し込む。

その他

Q １ヵ月の電気代はいくらですか？

A 1日30分（15分×2回）毎日使用した場合、約38円/月（税込み）です。

新電力料金目安単価22円/kWh（税込み）で計算

Q 長く使っていて音が大きくなってきましたが…

A 故障の場合も考えられますので販売店に点検・修理をご依頼ください。

Q タイマー機能はついていますか？

A ついています。

使いすぎ防止のために、マッサージをスタートさせてから約15分で自動的に終了します。タイマーが切れると、脚のせ台が自動で下がり、もみ玉が下部に移動して収納状態で止まります。

再度ご使用のときは、［切/入］を押してください。

- 15分使用した後は10分程休みましょう。
- 1日2回まで30分を目安にご使用ください。

Q マッサージするとき以外に、椅子としても使用したいのですが…

A この製品は、もみ玉によるマッサージをするために、背もたれ部分にくぼみがあります。椅子としてお使いになるときは、背もたれ部分にお手持ちのクッションなどを置くことをおすすめします。

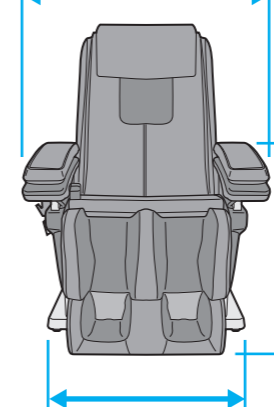
その他

Q 本体の寸法を教えてください

A 下記の図をご参照ください。

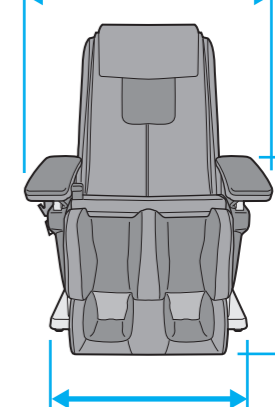
正面

<EP-MA50>

ひじ掛け幅 約82cm

ひじ掛け高さ 約65cm

接地部分の幅 約68cm

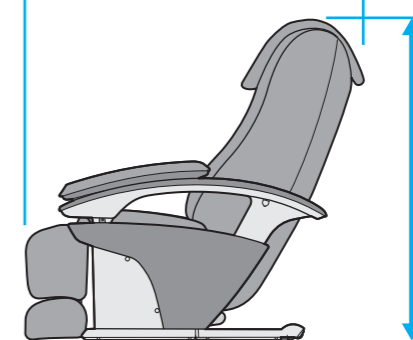
<EP-MA20>

ひじ掛け幅 約78cm

ひじ掛け高さ 約59cm

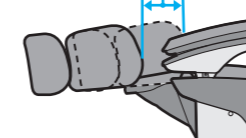
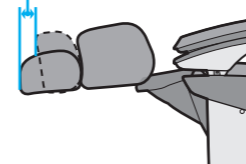
接地部分の幅 約68cm

側面

<EP-MA50・EP-MA20共通>

奥行き 約126cm

背もたれ高さ 約117cm

接地部分の奥行き 約81cm

脚のせ台スライド量 約12cm

脚のせ台の倒れ量 約8cm

高さ（枕を取り付けた状態） 約62cm

奥行き（脚のせ台が下がった状態） 約158cm

奥行き（脚のせ台が上がった状態） 約175cm

最大奥行き 約195cm

エラー表示について

動作中にエラーが発生した場合は、エラー内容が残り時間表示部に表示されます。

残り時間表示部

<エラー表示の例>
●エラー内容「U10」の場合
U·10 が交互に点灯します。

エラー表示	内　容
U10	人が座っていることを確認できないと、安全のため動作を終了します。座っているにもかかわらずこのエラーが出た場合は、背もたれに深く座りなおし、再度はじめから操作してください。
F11　F12	内部の通信系統に異常がありますので、動作を終了します。
F13　F30　F31　F32　F33	もみ機構部に異常がありますので、動作を終了します。
F14　F15　F16　F17　F34　F35	リクライニング機構や脚のせ台の上下機構に異常がありますのでもみ機構部以外の動作を終了します。

修理ご相談センターにご連絡ください。
ご連絡の際に、エラー表示の番号を伝えてくださると、点検・処置の対応がスムーズになります。

故障かな？と思ったとき

症　状	原因と処置
もみ玉が途中で止まる （操作器の動作表示部やボタンがすべて点滅して消灯する）	**ご使用中、無理に力がかかった場合、安全のためにもみ玉の動きが止まることがあります** 表示部やボタンがすべて点滅してもみ玉の動きが停止した場合、本体の電源スイッチを一度切り、約10秒後に再度「入」にしてから操作してください。再度止まる場合は、体を浮かし気味にしてご使用ください。（特に体重100kg以上の方がご使用になるときはご注意ください。）
リクライニングができない 脚のせ台の上げ下げができない （操作器の動作表示部やボタンがすべて点滅して消灯する）	障害物にあたるなど、ご使用中、無理に力がかかった場合、安全のために動作が止まることがあります。 表示部やボタンがすべて点滅して背もたれ、または脚のせ台が停止した場合、本体の電源スイッチを一度切り、約10秒後に再度「入」にしてから操作してください。
もみ玉が肩や首の位置まで来ない	頭が枕から離れていたり、背中が浮いていると体型センシングのときに、肩の位置を実際より下に検知してしまう場合があります。 深く腰かけ、頭を枕につけてマッサージを最初からやり直してください。 ☞P.22～23参照
左右のもみ玉の高さ（強さ）が異なる	交互たたき機構を採用しているため、やむをえず発生するもので故障ではありません。 ☞P.47参照
自動コースでマッサージをスタートしてもリクライニングしない （自動リクライニングしない）	背もたれや脚のせ台の位置（角度）により自動リクライニングしない場合があります。 ☞P.48参照
リクライニングが自動で戻らない	タイマーが働いて終了したときや［急停止］を押して終了したときは自動で戻りません。 （リクライニングを戻したい場合は［切/入］を2回押してください。）
動作しない ●上半身（首～腰）のマッサージ ●脚・足裏のマッサージ ●手・腕のマッサージ	●電源プラグが抜けている。 ☞P.18参照 ●本体の電源スイッチが「切」になっている。 ●操作器の［切/入］を押したあと、コースボタンや動作選択ボタンを押していない。
マッサージ停止後に再度［切/入］を押しても電源が入らない	●終了処理中（約5秒間）のため［切/入］を受けつけない場合があります。 すべての動作が終了して、約5秒以上たってから［切/入］を押してください。
破損してしまった	
電源コード、プラグが異常に熱い	

点検後なお異常がある

ただちに使用を中止

●お願い●

このような場合、事故防止のため必ず販売店または「修理ご相談センター」にご相談ください。

動作中発生する音や感覚について

ご使用中に下記のような動作音や感覚がありますが、構造上発生するものですので異常ではありません。

- ●動作時にもみ玉が生地のシワを乗り越えるときの音・感覚（ポコン音・カクン音）
- ●もみ・たたき動作などの動作音（カタカタ音・ピチピチ音・シャカシャカ音）
- ●もみ玉動作時のキシミ音（キシキシ音）
- ●上下動作時の動作音（カタカタ音）
- ●ベルトの回転音（シュルシュル音）
- ●モーター音（ウォーン音・ウィーン音・ジー音）
- ●もみ玉が『押し』から『引き』に変わる際の音（カクン音）
- ●着座時の音（ギュッ音）
- ●リクライニング時のひじ掛けと背クッションのこすれ音（ギュー音）
- ●もみ玉と布のこすれ音（ギュッギュ音）
- ●エアーの排気音（シュー音・スー音）
- ●脚のせ台のガタつき
- ●座面下からのポンプ動作音（ビー音・ウーン音・ブーン音）
- ●座面下からのバルブ動作音（コツ音）
- ●脚ストレッチ、動作時のカクン音

愛情点検　★長年ご使用のマッサージチェアの点検をぜひ!

このような症状はありませんか?

- ●コードや電源プラグが異常に熱い。
- ●動作中に異常な音、振動がある。
- ●スイッチを入れても、時々運転しないことがある。
- ●本体が変形したり、こげくさい臭いがする。

お願い

事故防止のため、使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

使いかたによりますが、目安として1日30分のご使用で1～2年程度に1度点検（有償）していただきますと、より長く快適にご使用になれます。

⚠警告

- ●絶対に改造しない。また、ご自分で分解したり、修理をしない。
  発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。

⚠注意

- ●動かない場合や、異常を感じたときは使用を中止し、すぐに電源プラグを抜いて点検修理を依頼する。
  守らないと感電や発火のおそれがあります。

定格・仕様

項目		EP-MA50	EP-MA20
販売名		マッサージチェア　EP-MA50	マッサージチェア　EP-MA20
使用電源		交流100V　50/60Hz	
消費電力		115W （操作器で「切」のとき約0.3W）	
類別		機械器具77バイブレーター	
一般的名称		家庭用電気マッサージ器（JMDNコード34662000）	
医療機器認証番号		220AKBZX00045000	220AKBZX00044000
医療機器の種類		管理医療機器	
上半身マッサージ	施療範囲（上下方向）	約73cm（もみ玉移動距離約62cm）	
	施療範囲（左右方向）	もみ動作時のもみ玉間隔（もみ幅調節） 首・肩・背・腰部　約5cm ～約21cm	
	施療範囲（前後方向）	もみ玉の突出量（強弱調節）約10cm	
	マッサージ速さ	たたき　約250回/分～約450回/分（片側） 背すじのばし約33秒～約84秒で1往復 上記以外　約5回/分～約50回/分	
	上下移動距離	上下移動（全体）：約73cmの範囲で上下方向に自動反復	
	マッサージ幅	背すじのばし・上下移動時　約5cm ～約17cm（もみ玉の幅含む） 上記以外　施療範囲（左右方向）と同じ	
エアーマッサージ	エアー圧力（ふくらはぎ）	5…約36kPa 4…約35kPa 3…約34kPa 2…約26kPa 1…約17kPa	5…約32kPa 4…約31kPa 3…約29kPa 2…約22kPa 1…約18kPa
		※部位によって若干の違いがあります。	
リクライニング角度		背もたれ…約120度～約170度 脚のせ台…約0度～約85度	
タイマー		約15分で自動で切	
大きさ	リクライニングしていないとき	高さ約117cm×幅約82cm ×奥行約126cm	高さ約117cm×幅約78cm ×奥行約126cm
	リクライニングしたとき	高さ約62cm×幅約82cm ×奥行約195cm	高さ約62cm×幅約78cm ×奥行約195cm
質量		約74kg	約68kg
張地		合成皮革	
製造販売業者		松下電工株式会社 滋賀県彦根市岡町33番地	
製造業者		松下電工株式会社 滋賀県彦根市岡町33番地	

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

相談先がなくお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談センター」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
但し一般家庭以外（例えば業務用など）に使用された場合は保証期間内でも有料とさせて頂きます。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパナソニック　マッサージチェアの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

52ページの「故障かな？と思ったとき」の表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **ご連絡いただきたい内容**
  ・製品名　・品番　・お買い上げ日
  ・故障の状況（できるだけ具体的に）
- **保証期間中は**　保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**　修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**　修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、	診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、	修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料は、	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

地球の環境保護の為、廃棄するときはそのまま放置しないで各自治体の取り決めにしたがってください

松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

・相談先がなくお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は

修理ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-081-365（ハイ 365日）
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
365日／受付9時～20時

ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。
〒571-8686 大阪府門真市門真1048
松下電工テクノサービス（株）

大阪 ☎06-6906-1090
札幌 ☎011-261-6401 (転)　名古屋 ☎052-551-7900 (転)
東京 ☎03-5392-7190 (転)　福岡 ☎092-622-0531 (転)

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は…06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03)3256-5444　**Osaka** (06)6645-8787
Open : 9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ご注意　・(転)印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。
・所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて
松下電工株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）	お買い上げ日	年　月　日	品番	EP-MA50･EP-MA20
	販売店名	（　）　―		

松下電工株式会社 ヘルシー・ライフ事業部
〒522-8520　滋賀県彦根市岡町33番地

ナショナルホームページ http://national.jp/
P931055001
Y0608-0
Printed in Japan